教材の利用について：このPDFは、利用者本人の個人学習目的で保存・印刷して利用できます。法令上認められる場合を除き、PDFまたは印刷物の第三者への配布・販売、問題・選択肢・解説の転載・流用、塾・講座・研修等での無断利用はできません。詳細は利用規約をご確認ください。https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0001 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：標準

感電のおそれがある作業についてリスク低減策を検討する場合、最も優先すべき考え方はどれか。

ア. 危険な作業そのものの廃止・変更や危険源の除去をまず検討する。

イ. 保護具を着用すれば他の対策は不要とする。

ウ. 注意喚起の掲示だけを最初の対策とする。

エ. 事故が起きてから設備対策を検討する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：リスク低減は、危険源の除去・代替、工学的対策、管理的対策、個人用保護具という順で、より根本的な対策を優先する。

イ：保護具は重要だが、危険源を残したまま個人の着用だけに依存するのは優先順位が低い。

ウ：掲示や注意喚起は管理的対策であり、設備的・根本的対策より先に固定すべきではない。

エ：リスクアセスメントは災害前に予防的に行うものであり、事故後だけに実施するものではない。

総合解説：リスク低減は、危険源の除去・代替、工学的対策、管理的対策、個人用保護具という順で、より根本的な対策を優先する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0002 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：基礎

作業手順を大きく変更することになった。リスクアセスメントの扱いとして適切なものはどれか。

ア. 以前の評価結果があるので再評価しない。

イ. 変更後の危険性・有害性を改めて調査し、必要な低減措置を見直す。

ウ. 変更後しばらく事故がなければ評価する。

エ. 作業者の経験が豊富なら評価を省略する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：手順変更により新たな危険が生じる可能性があり、過去の評価だけでは不十分である。

イ：作業方法・手順の新規採用や変更は、危険性・有害性が変化し得るため再評価の重要な契機となる。

ウ：事故発生の有無を待つのではなく、変更前後に予防的に評価する。

エ：経験は危険源の存在をなくすものではなく、組織的な評価を省略する根拠にならない。

総合解説：作業方法・手順の新規採用や変更は、危険性・有害性が変化し得るため再評価の重要な契機となる。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0003 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：基礎

一般的なリスクアセスメントでリスクを見積もる際に組み合わせて考える要素として最も適切なものはどれか。

ア. 作業者の勤続年数だけで評価する。

イ. 工事金額と工期だけで評価する。

ウ. 災害の重篤度と発生可能性を組み合わせて評価する。

エ. 使用工具の価格と数量だけで評価する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：勤続年数は一要素になり得ても、それだけで危害の大きさと発生可能性を表せない。

イ：工事金額と工期は工程・原価管理の指標であり、安全リスクそのものの尺度ではない。

ウ：リスクは一般に、危害の程度と発生する可能性などを組み合わせて見積もる。

エ：工具の価格や数量だけでは危害の大きさや発生可能性を適切に評価できない。

総合解説：リスクは一般に、危害の程度と発生する可能性などを組み合わせて見積もる。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0004 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：標準

朝礼で行う危険予知（KY）活動とリスクアセスメントの関係について、最も適切なものはどれか。

ア. KYを実施すればリスクアセスメントは不要になる。

イ. リスクアセスメントは当日の天候だけを確認する活動である。

ウ. KYは事故後の原因分析だけを目的とする。

エ. リスクアセスメントで整理した危険源や対策を、当日のKYで具体的作業条件に落とし込む。

答え・解説 **正答：エ**

ア：KYは日々の危険予知に有効だが、体系的なリスク評価を全面的に代替するものではない。

イ：リスクアセスメントは危険性・有害性の洗い出しから低減措置までを扱う。

ウ：KYは作業前の危険予知が中心であり、事故後分析だけを目的とするものではない。

エ：両者は代替関係ではなく、事前の体系的評価と当日の具体的危険確認を連携させると有効である。

総合解説：両者は代替関係ではなく、事前の体系的評価と当日の具体的危険確認を連携させると有効である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0005 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：標準

設備対策を講じても完全には除去できない残留リスクがある場合の対応として適切なものはどれか。

ア. 残留リスクを関係者に周知し、手順・教育・保護具など追加対策を組み合わせる。

イ. ゼロにならないリスクは記録せず作業を続ける。

ウ. 残留リスクは現場代理人だけが知っていればよい。

エ. 設備対策後は保護具や作業手順を確認しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：残留リスクは見える化・周知し、必要な管理的対策や保護具を重ねて管理する。

イ：残留リスクを記録しないと、後工程や別班に危険情報が継承されない。

ウ：実際に作業する者を含む関係者への周知が必要で、管理者だけの情報にしてはならない。

エ：設備対策だけでリスクが十分下がらない場合、追加対策の検討が必要である。

総合解説：残留リスクは見える化・周知し、必要な管理的対策や保護具を重ねて管理する。この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0006 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：標準

ケーブルラック上で工具を落としかけたヒヤリハットが報告された。最も適切な対応はどれか。

ア. けが人がいないため記録しない。

イ. 原因と潜在的な危害を分析し、工具落下防止や立入管理などを作業手順に反映する。

ウ. 本人の注意不足として口頭注意だけで終了する。

エ. 同じ作業が終わるまで報告を保留する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：無災害でも重大事故の前兆になり得るため、記録・分析の価値がある。

イ：ヒヤリハットは事故に至らなかった危険事象として、再発防止の先行情報に活用する。

ウ：個人注意だけでは設備・手順・環境要因が残り、再発防止が不十分になる。

エ：危険情報は早期共有し、同種作業へ対策を展開することが重要である。

総合解説：ヒヤリハットは事故に至らなかった危険事象として、再発防止の先行情報に活用する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0007 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：応用

二つの危険源を比較したところ、Aは発生頻度が低いが死亡災害につながる可能性があり、Bは頻度が高いが軽微な擦過傷にとどまる。対応として最も適切なものはどれか。

ア. 頻度が低いAは評価対象から外す。

イ. 死亡につながり得ても件数が少なければ対策しない。

ウ. 頻度だけでなく重篤度も含めて評価し、両方のリスク低減を優先度に応じて計画する。

エ. Bだけを対策し、Aは作業者の注意に任せる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：低頻度でも結果が重大なら無視できない。

イ：重大災害の可能性がある危険源は低頻度でも適切な低減策が必要である。

ウ：リスクの優先度は発生可能性だけでなく危害の重篤度も含めて決める。

エ：頻度の高い軽微災害だけに対策を集中すると、重大リスクが残る。

総合解説：リスクの優先度は発生可能性だけでなく危害の重篤度も含めて決める。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0008 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：標準

複数の協力会社が同一フロアで天井内配線と設備搬入を同時に行う。リスク管理として最も適切なものはどれか。

ア. 各社が自社作業だけを評価し、他社の作業は考慮しない。

イ. 工程が遅れるため同一動線を自由に使用する。

ウ. 干渉が起きたときだけ現場で調整する。

エ. 作業間の干渉を洗い出し、時間帯・動線・立入区画・連絡方法を関係者間で調整する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：他社作業との接触・落下・車両交錯などは自社単独評価では把握しきれない。

イ：自由使用は人と資機材の交錯を増やし、接触災害のリスクを高める。

ウ：事後調整では遅く、作業前に干渉リスクを処理することが重要である。

エ：混在作業では相互干渉が新たな危険源になるため、事前調整と共有が必要である。

総合解説：混在作業では相互干渉が新たな危険源になるため、事前調整と共有が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0009 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：基礎

TBM（ツールボックスミーティング）の実施目的として最も適切なものはどれか。

ア. 当日の作業内容・手順・危険ポイント・役割分担を作業前に共有する。

イ. 月間出来高だけを確認する。

ウ. 完成後の写真整理だけを行う。

エ. 原価計算だけを行う。

答え・解説 **正答：ア**

ア： TBMは短時間の作業前打合せとして、当日の具体的作業と安全事項の共有に用いられる。

イ： 出来高確認は工程管理の一部だが、TBMの中心目的ではない。

ウ： 写真整理は記録管理であり、作業前安全打合せの目的ではない。

エ： 原価計算は安全衛生活動の直接目的ではない。

総合解説： TBMは短時間の作業前打合せとして、当日の具体的作業と安全事項の共有に用いられる。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0010 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：基礎

「開口部の近くで作業する」という状況で、危険源の把握として最も適切なものはどれか。

ア. 開口部の存在は工程上の問題なので安全評価しない。

イ. 開口部から墜落し得る状態を危険源として特定し、墜落時の被害と発生可能性を評価する。

ウ. 作業者が慣れていれば危険源とは扱わない。

エ. 墜落防止措置を講じる前に危険源の特定は不要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア： 開口部は典型的な墜落危険源であり、安全評価の対象である。

イ： 危険源を具体的に特定した上で、どのような危害がどの程度起こり得るかを評価する。

ウ： 熟練度が高くても物理的危険源は存在する。

エ： 適切な対策を選ぶためにも、先に危険源を特定する必要がある。

総合解説： 危険源を具体的に特定した上で、どのような危害がどの程度起こり得るかを評価する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0011 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：応用

感電災害が発生し、既存の作業手順どおりでは危険を十分に防げなかったことが判明した。最も適切な対応はどれか。

ア. 事故原因を被災者の不注意だけに限定する。

イ. 同じ班だけに口頭注意し、他班には共有しない。

ウ. 原因調査の結果を踏まえてリスクアセスメントと作業手順を見直し、類似作業へ水平展開する。

エ. 既存手順は承認済みなので変更しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：人的要因だけに限定すると設備・手順・管理上の原因を見落とす。

イ：同種作業を行う他班にも再発リスクがあるため共有が必要である。

ウ：災害は既存評価・手順の弱点を示すため、原因分析と再評価、類似作業への展開が必要である。

エ：承認済みでも実効性に問題が判明すれば見直す必要がある。

総合解説：災害は既存評価・手順の弱点を示すため、原因分析と再評価、類似作業への展開が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0012 安全衛生 > 危険予知・リスクアセスメント ｜ 難易度：応用

リスク低減策として「通電部を隔離し、作業区域を施錠管理する」と決めた後の確認として最も適切なものはどれか。

ア. 対策を文書に記載した時点で完了とする。

イ. 鍵の管理方法は作業者ごとに自由とする。

ウ. 一度決めた対策は現場条件が変わっても見直さない。

エ. 対策が実際に実施され、想定したリスク低減効果が得られているか現場で確認する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：文書化だけでは現場で実施されている保証にならない。

イ：施錠管理は責任者・貸出方法等を明確にしなければ実効性が低下する。

ウ：条件変化に応じて対策の妥当性を再確認する必要がある。

エ：リスクアセスメントは対策決定で終わらず、実施状況と有効性を確認し、必要なら改善する。

総合解説：リスクアセスメントは対策決定で終わらず、実施状況と有効性を確認し、必要なら改善する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0013 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：基礎

高所作業車を用いて作業する場合の事前対応として適切なものはどれか。

ア. 作業場所の状況と高所作業車の種類・能力に適応した作業計画を定め、関係者に周知する。

イ. 作業計画は不要で、運転者の経験だけに任せる。

ウ. 作業床の高さだけを決め、作業方法は当日決める。

エ. 道路上走行と同じ扱いとして作業場所を調査しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：労働安全衛生規則では、高所作業車作業について場所の状況・機械の能力等に適応した作業計画を定める。

イ：経験だけでは転倒・接触等の現場固有リスクを管理できない。

ウ：作業方法を含む計画が必要であり、高さだけでは不十分である。

エ：作業場所の地盤・障害物・架空線等の条件確認が重要である。

総合解説：労働安全衛生規則では、高所作業車作業について場所の状況・機械の能力等に適応した作業計画を定める。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0014 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：基礎

高所作業車を用いる作業の指揮について適切なものはどれか。

ア. 運転者以外は作業計画を知らなくてよい。

イ. 作業指揮者を定め、作業計画に基づいて作業を指揮させる。

ウ. 指揮者は作業終了後にだけ選任する。

エ. 複数人作業でも合図方法を決めない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：関係労働者への周知が必要で、運転者だけが理解していればよいわけではない。

イ：規則は作業指揮者を定め、作業計画に基づく指揮を行わせることを求めている。

ウ：指揮者は作業前に定め、実作業を統制する役割を持つ。

エ：合図・指示の統一は誤操作や接触災害防止に重要である。

総合解説：規則は作業指揮者を定め、作業計画に基づく指揮を行わせることを求めている。この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0015 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：標準

バックホウを用いて構内掘削を行う。作業計画に含める内容として最も適切なものはどれか。

ア. 燃料単価だけを記載する。

イ. 運転者の自宅から現場までの通勤経路を定める。

ウ. 機械の種類・能力、運行経路、作業方法を現場条件に合わせて定める。

エ. 掘削完了後に運行経路を決める。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：燃料単価は原価管理事項であり、安全な運行計画の中心ではない。

イ：通勤経路ではなく、作業場内での運行経路が重要である。

ウ：車両系建設機械では、地形・地質等の調査に基づき、運行経路や作業方法を含む計画を定める。

エ：安全確保のため作業開始前に経路・方法を決める。

総合解説：車両系建設機械では、地形・地質等の調査に基づき、運行経路や作業方法を含む計画を定める。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0016 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：標準

現場で想定外の架空線が見つかり、予定していた高所作業車の配置を変更する必要が生じた。最も適切な対応はどれか。

ア. 作業員の注意で回避できるとしてそのまま続行する。

イ. 架空線の位置を測らず、目測だけで作業する。

ウ. 工程遅延を避けるため作業計画を変更しない。

エ. 作業を一旦停止し、危険性を再確認して作業計画・指揮方法を見直してから再開する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：注意だけでは接触・感電の重大リスクを十分に低減できない。

イ：架空線との離隔・作業範囲を具体的に確認する必要がある。

ウ：工程優先で危険な計画を維持してはならない。

エ：現場条件が計画と異なる場合は、危険を再評価して計画を変更し、関係者へ周知した上で再開する。

総合解説：現場条件が計画と異なる場合は、危険を再評価して計画を変更し、関係者へ周知した上で再開する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0017 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：標準

クレーンで機器を搬入する際、複数の作業員が運転者へ別々の合図を送っている。最も適切な改善はどれか。

ア. 合図者と合図方法を明確にし、運転者が統一された指示に従える体制にする。

イ. 声が大きい人の合図を優先する。

ウ. 運転者がその都度判断して好きな合図を採用する。

エ. 合図を廃止し、無線も使用しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：揚重作業では指揮・合図系統を明確にし、相反する指示による誤操作を防ぐ。

イ：声量は正当な指揮権限を示すものではない。

ウ：運転者の独断は不測の動きにつながるため、事前に合図系統を統一する。

エ：視界不良時などは適切な合図手段が不可欠である。

総合解説：揚重作業では指揮・合図系統を明確にし、相反する指示による誤操作を防ぐ。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0018 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：応用

受変電設備の停電切替作業で、複数班が同時に作業する。施工管理上最も適切なものはどれか。

ア. 各班が作業完了を個別判断し、自由に復電する。

イ. 操作責任者、作業範囲、施錠・表示、復電条件、連絡系統を事前に明確化する。

ウ. 停電範囲は口頭伝達だけで記録しない。

エ. 復電前の人員確認を省略する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：自由な復電は他班の作業中送電につながる重大リスクがある。

イ：停電切替は誤送電を防ぐため、責任と操作手順、復電条件を厳格に統一する必要がある。

ウ：口頭だけでは伝達漏れや誤認が生じやすく、明確な手順・表示・記録が必要である。

エ：復電前には作業終了・人員退避等を確認する必要がある。

総合解説：停電切替は誤送電を防ぐため、責任と操作手順、復電条件を厳格に統一する必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0019 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：応用

電気工事の天井内配線と設備工事のダクト搬入が同じ時間帯に重なる。最も適切な施工管理はどれか。

ア. 工期優先で同じ区域へ同時に入れる。

イ. 作業者同士の現場判断だけに任せる。

ウ. 作業順序や区画を調整し、上下作業や搬入動線の交錯を避ける計画に変更する。

エ. 危険が発生した場合だけ工程調整する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：同時作業の無調整は重大災害の要因になる。

イ：現場判断だけでは全体最適な安全調整ができない。

ウ：混在作業は相互干渉による落下・接触等の危険を増やすため、事前に工程・区画を調整する。

エ：危険発生後では遅く、事前に干渉を除去することが重要である。

総合解説：混在作業は相互干渉による落下・接触等の危険を増やすため、事前に工程・区画を調整する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0020 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：標準

強風により高所作業の安全確保が困難になった。作業指揮として適切なものはどれか。

ア. 工程が遅れているため予定どおり続行する。

イ. 墜落制止用器具を着けていれば必ず続行できる。

ウ. 風が弱まるかどうかを作業しながら確認する。

エ. 危険が予想される場合は作業を中止し、安全な状態を確認してから再開する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：工程より安全確保を優先する。

イ：保護具があっても強風による転倒・飛来・姿勢不安定など全リスクを除去できない。

ウ：危険状態のまま作業を継続して確認するのは不適切である。

エ：悪天候等で危険が予想される場合は、作業中止を含む安全側の判断が必要である。

総合解説：悪天候等で危険が予想される場合は、作業中止を含む安全側の判断が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0021 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：基礎

新規入場者に対する安全周知として最も適切なものはどれか。

ア. 現場固有の危険、立入禁止区域、避難経路、連絡方法、基本ルールを作業前に説明する。

イ. 会社名だけ確認してすぐ作業させる。

ウ. 経験者なら現場ルールの説明を省略する。

エ. 事故が起きた後に避難経路を説明する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：新規入場者は現場固有条件を知らないため、作業前に必要な安全情報を周知する。

イ：所属確認だけでは安全行動に必要な情報が不足する。

ウ：経験者でも現場ごとの危険やルールは異なる。

エ：避難・緊急連絡は事前周知が必要である。

総合解説：新規入場者は現場固有条件を知らないため、作業前に必要な安全情報を周知する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0022 安全衛生 > 作業計画・指揮 ｜ 難易度：標準

騒音の大きい機械室で無線を使って作業指示を出す。誤認防止策として適切なものはどれか。

ア. 一度送信したら聞き取れたものとみなす。

イ. 重要な指示は復唱や合図確認を行い、受け手が正しく理解したことを確認する。

ウ. 複数人が同時に指示を送る。

エ. 聞き取れなくても作業者の推測で進める。

答え・解説 **正答：イ**

ア：送信しただけでは受信・理解を保証できない。

イ：騒音環境では伝達不良が起こりやすいため、復唱等で指示の成立を確認することが有効である。

ウ：同時指示は混乱を招くため指揮系統を明確にする。

エ：推測での作業は誤操作や災害につながる。

総合解説：騒音環境では伝達不良が起こりやすいため、復唱等で指示の成立を確認することが有効である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0023 安全衛生 > 保護具・立入管理 ｜ 難易度：標準

保護具の選定方法として最も適切なものはどれか。

ア. 全作業で同じ保護具だけを使う。

イ. サイズが合わなくても高価な保護具を優先する。

ウ. 作業の危険性・有害性と保護具の性能・適合性を確認して選定する。

エ. 保護具を着用すれば危険源対策は不要とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：感電、飛来、墜落、騒音等で必要な保護性能は異なる。

イ：適合しないサイズは脱落や機能低下につながる。

ウ：保護具は危険の種類に適合し、正しく装着できるものを選ぶ必要がある。

エ：保護具は最後の防護層であり、危険源対策と併用する。

総合解説：保護具は危険の種類に適合し、正しく装着できるものを選ぶ必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0024 安全衛生 > 保護具・立入管理 ｜ 難易度：基礎

掘削作業で物体の飛来・落下のおそれがある場合の対応として適切なものはどれか。

ア. 安全靴だけで代用する。

イ. 帽子の代わりにタオルを巻く。

ウ. 短時間作業なら着用しない。

エ. 作業者に保護帽を着用させ、正しく使用させる。

答え・解説 **正答：エ**

ア：安全靴は頭部保護の代替にならない。

イ：タオルには飛来・落下物に対する保護性能がない。

ウ：作業時間の短さは危険を消失させない。

エ：労働安全衛生規則は明り掘削作業等で飛来・落下危険に対して保護帽の着用を求める。

総合解説：労働安全衛生規則は明り掘削作業等で飛来・落下危険に対して保護帽の着用を求める。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0025 安全衛生 > 保護具・立入管理 ｜ 難易度：標準

墜落制止用器具を使用する際の考え方として最も適切なものはどれか。

ア. 取付設備の強度と取付位置を確認し、墜落時の落下距離や衝突リスクも考慮する。

イ. 腰より低い弱い配管に任意に掛ける。

ウ. フックを掛けていれば取付先の強度は確認しない。

エ. 作業床の端部から遠いほどよいとして長いランヤードを選ぶ。

答え・解説 **正答：ア**

ア：器具は適切な取付設備へ使用し、落下距離や振られ・衝突を含めて機能させる必要がある。

イ：弱い配管は荷重に耐えられず、取付先として不適切である。

ウ：取付設備の強度確認は重要である。

エ：過大な自由落下距離は停止時の衝撃や下方衝突リスクを増やす。

総合解説：器具は適切な取付設備へ使用し、落下距離や振られ・衝突を含めて機能させる必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0026 安全衛生 > 保護具・立入管理 ｜ 難易度：応用

充電電路近接作業で絶縁用保護具を使用する前の確認として適切なものはどれか。

ア. 濡れていてもそのまま使用する。

イ. 損傷・劣化・汚損の有無を確認し、所定の性能が確保できる状態で使用する。

ウ. 外観に裂け目があっても短時間なら使用する。

エ. 絶縁性能の対象電圧を確認せず使用する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：水分や汚損は絶縁性能に影響する可能性がある。

イ：絶縁用保護具は状態・適用範囲を確認し、性能低下のおそれがあるものを使用しない。

ウ：損傷品は保護性能を確保できず使用すべきでない。

エ：使用電圧に適合する保護具を選定する必要がある。

総合解説：絶縁用保護具は状態・適用範囲を確認し、性能低下のおそれがあるものを使用しない。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0027 安全衛生 > 保護具・立入管理 ｜ 難易度：基礎

立入禁止措置として最も適切なものはどれか。

ア. 表示を設けず口頭注意だけにする。

イ. 資材を置いて通りにくくするだけで代用する。

ウ. 危険区域を明確に区画し、見やすい表示や監視等により関係者以外の立入りを防止する。

エ. 作業終了後だけバリケードを設置する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：口頭だけでは不在時や未周知者への効果がない。

イ：単なる資材配置は正式な区画・表示にならず、別の危険も生じる。

ウ：立入禁止は対象区域を明確にし、実際に侵入を防止できる方法で運用することが重要である。

エ：危険が存在する作業中に措置する必要がある。

総合解説：立入禁止は対象区域を明確にし、実際に侵入を防止できる方法で運用することが重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0028 安全衛生 > 保護具・立入管理 ｜ 難易度：標準

資材搬入口を一般利用者の通路と共用せざるを得ない。最も適切な対応はどれか。

ア. 利用者に注意して通ってもらうだけとする。

イ. 搬入車両を優先し、利用者通路を突然閉鎖する。

ウ. 誘導員なしで後退車両を進入させる。

エ. 時間分離や仮囲い・誘導員等を組み合わせ、一般利用者と搬入作業の交錯を最小化する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：注意依存だけでは接触リスクを十分に下げられない。

イ：無計画な閉鎖は別の危険や混乱を生む。

ウ：後退時は死角が大きく、適切な誘導・確認が重要である。

エ：人と車両・資材の動線交錯は接触災害の主要因であり、分離・誘導を計画する。

総合解説：人と車両・資材の動線交錯は接触災害の主要因であり、分離・誘導を計画する。この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0029 安全衛生 > 保護具・立入管理 ｜ 難易度：標準

保護具の管理として適切なものはどれか。

ア. 必要な保護具を支給するだけでなく、正しい着用方法を教育し、使用状況を確認する。

イ. 倉庫に保管しておけば着用確認は不要とする。

ウ. 本人が嫌がれば必要な保護具も任意とする。

エ. 一度支給した保護具は劣化点検を行わない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：保護具は支給・選定だけでなく、正しい使用と点検・管理まで含めて機能する。

イ：保管だけでは実際の保護効果が得られない。

ウ：必要な保護具の使用は任意の好みだけで決めるものではない。

エ：劣化・損傷により性能が低下するため点検が必要である。

総合解説：保護具は支給・選定だけでなく、正しい使用と点検・管理まで含めて機能する。この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0030 安全衛生 > 保護具・立入管理 ｜ 難易度：応用

天井内からの落下物危険があるため通路を立入禁止としていた。作業終了後の区画解除として適切なものはどれか。

ア. 作業員が現場を離れた時点で自動的に解除する。

イ. 工具・材料の残置や落下危険がないことを確認し、責任者の確認後に区画を解除する。

ウ. 未固定部材が残っていても通行量が少なければ解除する。

エ. バリケードだけ先に撤去し、その後安全確認する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：人がいなくても残置物・未固定部材による危険は残り得る。

イ：立入禁止は危険が除去されたことを確認してから解除する。

ウ：通行量の少なさは落下危険をなくさない。

エ：先に区画を撤去すると安全確認中に第三者が侵入するおそれがある。

総合解説：立入禁止は危険が除去されたことを確認してから解除する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0031 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：基礎

足場（一側足場を除く。）における高さ2m以上の作業場所での基本的な墜落防止措置として適切なものはどれか。

ア. 脚立だけを置けばよい。

イ. 作業者が熟練者なら作業床を省略する。

ウ. 規則に適合する作業床を設ける。

エ. 工具袋を着用すれば作業床は不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：脚立は足場作業床の代替として一律に扱えない。

イ：熟練度にかかわらず墜落危険への設備的対策が必要である。

ウ：労働安全衛生規則では、高さ2m以上の足場作業場所に作業床を設けることを基本としている。

エ：工具袋は物の落下対策にはなっても墜落防止設備の代替にならない。

総合解説：労働安全衛生規則では、高さ2m以上の足場作業場所に作業床を設けることを基本としている。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0032 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：基礎

足場（一側足場を除く。）の高さ2m以上の作業場所に設ける作業床の幅として、原則の基準に合うものはどれか。

ア. 20 cm以上

イ. 25 cm以上

ウ. 30 cm以上

エ. 40 cm以上

答え・解説 **正答：エ**

ア：20cmでは規則の原則基準に達しない。

イ：25cmでは規則の原則基準に達しない。

ウ：30cmでは規則の原則基準に達しない。

エ：現行の労働安全衛生規則では、対象となる足場の作業床は原則として幅40cm以上とする。

総合解説：現行の労働安全衛生規則では、対象となる足場の作業床は原則として幅40cm以上とする。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0033 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：基礎

高さ2m以上の構造の足場を組み立てる作業区域での措置として適切なものはどれか。

ア. 作業関係者以外の立入りを禁止する旨を見やすく表示するなどして立入禁止とする。

イ. 一般通行者が急いでいれば通行させる。

ウ. 足場材を置くだけで立入禁止表示を省略する。

エ. 作業終了後だけ立入禁止にする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：足場組立・解体・変更区域では、関係作業者以外の立入りを禁止する措置が必要である。

イ：作業中は落下物等の危険があり、第三者の都合で解除してはならない。

ウ：資材の配置だけでは立入禁止の意思や範囲が明確にならない。

エ：危険が存在する作業中に立入禁止とする必要がある。

総合解説：足場組立・解体・変更区域では、関係作業者以外の立入りを禁止する措置が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0034 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：標準

足場の組立作業中に強風となり、作業の実施に危険が予想される。最も適切な対応はどれか。

ア. 工程優先で組立てを完了するまで続行する。

イ. 作業を中止し、資材の飛散・足場の安定等を確認する。

ウ. 墜落制止用器具があれば無条件で続行する。

エ. 作業床上の人数を増やして安定させる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：工程を優先して危険作業を続けてはならない。

イ：規則は強風・大雨・大雪等で危険が予想される場合に足場組立等の作業を中止することを求める。

ウ：保護具は強風による飛来・足場不安定等を完全には除去しない。

エ：人数増加は荷重や混雑を増し、安定対策にはならない。

総合解説：規則は強風・大雨・大雪等で危険が予想される場合に足場組立等の作業を中止することを求める。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0035 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：基礎

足場組立時に材料や工具を上げ下ろしする方法として適切なものはどれか。

ア. 下から上へ投げ渡す。

イ. 工具を作業床の端から滑らせて渡す。

ウ. 落下による危険がある場合は、つり綱・つり袋等を使用して受け渡す。

エ. 通行人の上を通過させて手渡す。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：投げ渡しは落下・飛来災害につながる。

イ：端部から滑らせる方法は制御不能になりやすい。

ウ：足場組立等で資材を上下させる際は、落下危険を防ぐ方法を用いる。

エ：第三者の上を通過させることは公衆災害の危険もある。

総合解説：足場組立等で資材を上下させる際は、落下危険を防ぐ方法を用いる。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0036 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：標準

大型機器の搬入のため、作業上やむを得ず足場の手すり等を一時的に取り外した。搬入後の対応として適切なものはどれか。

ア. 翌日の始業前まで放置する。

イ. 注意表示だけ残して復旧しない。

ウ. 作業者が少ないため撤去状態を継続する。

エ. 取り外す必要がなくなった後、直ちに墜落防止設備を原状に復する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：時間を空けるとその間の墜落危険が残る。

イ：注意表示は設備的な墜落防止の代替にならない。

ウ：人数が少なくても墜落危険は存在する。

エ：臨時に取り外した足場用墜落防止設備は、その必要がなくなった後、直ちに原状復旧する。

総合解説：臨時に取り外した足場用墜落防止設備は、その必要がなくなった後、直ちに原状復旧する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0037 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：標準

高所作業車を軟弱地盤付近で使用する場合の転倒防止策として適切なものはどれか。

ア. アウトリガーを適切に張り出し、地盤の不同沈下や路肩崩壊を防ぐ措置を講じる。

イ. 片側アウトリガーだけを収納したまま作業する。

ウ. 作業床を高くするほど安定すると考える。

エ. 地盤確認をせず、タイヤの空気圧だけ確認する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：高所作業車ではアウトリガー、地盤沈下、路肩崩壊等を考慮した転倒・転落防止措置が必要である。

イ：片側だけの不適切な支持は転倒リスクを増す。

ウ：作業床を高くすると一般に重心・風の影響等で安定性が厳しくなる。

エ：タイヤだけでなく支持地盤の状態確認が重要である。

総合解説：高所作業車ではアウトリガー、地盤沈下、路肩崩壊等を考慮した転倒・転落防止措置が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0038 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：標準

床開口部の近くで配線作業を行う。最も適切な墜落防止策はどれか。

ア. 合板を置くだけで固定しない。

イ. 十分な強度の囲い・手すり・覆い等で開口部を防護し、必要に応じて表示する。

ウ. 開口部の位置を知る人だけで作業する。

エ. 照明を暗くして開口部を目立たなくする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：未固定の覆いはずれたり踏み抜いたりする危険がある。

イ：開口部は墜落の典型的危険源であり、容易に移動・脱落しない設備的防護が基本である。

ウ：知識だけでは誤踏入れを防げない。

エ：視認性を落とすことは危険を増す。

総合解説：開口部は墜落の典型的危険源であり、容易に移動・脱落しない設備的防護が基本である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0039 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：標準

脚立を用いた軽作業の方法として適切なものはどれか。

ア. 天板の上で身体を大きくひねって作業する。

イ. 脚立を閉じたまま立て掛けて長時間作業する。

ウ. 設置状態を安定させ、無理な身乗り出しを避け、適正な使用方法を守る。

エ. 滑りやすい床面でも固定せず使用する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：大きな身乗り出しやひねりは重心を外し転倒を招く。

イ：用途外の使用は安定性を損なうおそれがある。

ウ：脚立は転倒・転落を防ぐため、安定設置と無理な姿勢を避けることが基本である。

エ：滑りやすい場所では脚部の安定確保が必要である。

総合解説：脚立は転倒・転落を防ぐため、安定設置と無理な姿勢を避けることが基本である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0040 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：標準

移動はしごを用いて昇降する場合の安全上の考え方として適切なものはどれか。

ア. 工具を両手いっぱいに持って昇る。

イ. 上端を支持せず滑りやすい床で使用する。

ウ. 途中で横方向へ大きく身を乗り出す。

エ. 転位を防止して安定させ、昇降時は身体のバランスを保てる状態で使用する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：両手がふさがると支持が不十分になり墜落リスクが高まる。

イ：支持・滑り止めがないと転位するおそれがある。

ウ：横への身乗り出しは重心が外れ、はしごの転倒につながる。

エ：はしごは滑動・転位を防止し、昇降中の三点支持等バランス確保が重要である。

総合解説：はしごは滑動・転位を防止し、昇降中の三点支持等バランス確保が重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0041 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：応用

強風後に足場を再使用する。最も適切な対応はどれか。

ア. 再使用前に足場の緊結部、床材、手すり等の異常を点検し、異常があれば補修する。

イ. 外観を遠くから見るだけで使用する。

ウ. 作業者が一人試しに歩いて問題なければ点検済みとする。

エ. 工程が遅れていれば点検を省略する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：悪天候後は足場の変位・緩み等が生じ得るため、使用前の点検と異常是正が重要である。

イ：遠目の確認だけでは緊結部や床材の詳細な異常を確認できない。

ウ：試し歩きは正式な点検の代替にならず、むしろ危険である。

エ：工程事情で安全点検を省略してはならない。

総合解説：悪天候後は足場の変位・緩み等が生じ得るため、使用前の点検と異常是正が重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0042 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：標準

足場上にケーブルドラムや盤用部材を仮置きする場合の管理として適切なものはどれか。

ア. 空いている場所へ可能な限り集中的に積む。

イ. 足場の許容荷重や荷重分布を確認し、過積載や局部集中を避ける。

ウ. 軽そうに見えれば重量確認をしない。

エ. 作業床の端部へまとめて置く。

答え・解説 **正答：イ**

ア：集中積載は局部的な変形・破損を招く可能性がある。

イ：足場は設計・使用条件に応じた荷重管理が必要で、集中荷重や過積載を避ける。

ウ：見た目では重量を正確に判断できない。

エ：端部積載は落下・転倒や偏荷重のリスクを増す。

総合解説：足場は設計・使用条件に応じた荷重管理が必要で、集中荷重や過積載を避ける。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0043 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：応用

上階でケーブルラック取付け、直下で別班が端末処理を行う計画になっている。最も適切な対応はどれか。

ア. 互いにヘルメットを着ければ同時作業してよい。

イ. 上作業者が注意すれば下作業を制限しない。

ウ. 原則として作業時間や区域を分け、やむを得ない場合は落下防護と立入管理を強化する。

エ. 工具が小型なら上下作業の調整は不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：保護帽だけでは重量物・工具落下の全リスクを除去できない。

イ：注意依存では落下を確実に防げない。

ウ：上下作業は落下物による重大災害につながるため、まず同時作業を避ける計画が有効である。

エ：小型工具でも高さがあれば重大な危害を生じ得る。

総合解説：上下作業は落下物による重大災害につながるため、まず同時作業を避ける計画が有効である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0044 墜落・崩壊防止 > 足場・高所 ｜ 難易度：応用

屋外で高所作業車を設置しようとしたところ、ブーム旋回範囲の近くに架空電線がある。最も適切な対応はどれか。

ア. 作業床の作業者だけが注意すればよい。

イ. 電線が絶縁被覆に見えるため接触してもよい。

ウ. ブームを速く動かして短時間で通過させる。

エ. 離隔や電線の状態を確認し、必要に応じて電線管理者と協議して防護・監視・作業範囲制限等を行う。

答え・解説 **正答：エ**

ア：運転者・地上監視者を含めた管理が必要で、作業床の者だけでは不十分である。

イ：外観から安全な絶縁状態を判断して接触を許容してはならない。

ウ：速度を上げると誤操作時の回避余地が減り危険である。

エ：架空線近接作業は接触・感電の重大危険があるため、事前調査と管理者協議、作業範囲管理が重要である。

総合解説：架空線近接作業は接触・感電の重大危険があるため、事前調査と管理者協議、作業範囲管理が重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0045 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：基礎

明り掘削前の地山調査で確認すべき事項として最も適切なものはどれか。

ア. 地質・地層、き裂、含水・湧水、埋設物等の状態を確認する。

イ. 作業員の通勤方法だけを確認する。

ウ. 掘削機械の塗装色だけを確認する。

エ. 工事写真の枚数だけを確認する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：地山の崩壊・埋設物損傷等を防ぐには地質・湧水・埋設物等の事前調査が重要である。

イ：通勤方法は地山崩壊リスクの主要調査事項ではない。

ウ：塗装色は地山の安全性を左右する調査項目ではない。

エ：写真枚数は記録管理事項であり、地山条件の把握ではない。

総合解説：地山の崩壊・埋設物損傷等を防ぐには地質・湧水・埋設物等の事前調査が重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0046 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：標準

掘削予定範囲に既設電力ケーブルがあることが判明した。最も適切な対応はどれか。

ア. 図面上の位置だけを信じ、現地確認しない。

イ. 位置・深さ・管理者を確認し、必要な試掘・防護・立会条件を定めて施工する。

ウ. バックホウで一気に掘削してから確認する。

エ. ケーブルが古ければ無断で撤去する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：図面・台帳と実際の位置が異なる可能性がある。

イ：埋設物近接掘削では、台帳照合・現地確認・管理者協議等による安全措置が必要である。

ウ：機械で一気に掘ると埋設物損傷の危険が高い。

エ：管理者の不明・既設物を無断で撤去してはならない。

総合解説：埋設物近接掘削では、台帳照合・現地確認・管理者協議等による安全措置が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0047 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：標準

掘削面にき裂が発生し、土砂崩壊のおそれがある。最も適切な対応はどれか。

ア. き裂に土を詰めてそのまま作業を続ける。

イ. 作業員を増やして短時間で終わらせる。

ウ. 作業を停止し、土止め支保工や立入禁止など必要な崩壊防止措置を講じる。

エ. 崩壊するまで監視だけで対応する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：表面だけ埋めても崩壊原因が解消されるとは限らない。

イ：人数増加は被災者数を増やすおそれがある。

ウ：崩壊のおそれがある場合は事前に防護・支保・立入禁止等で危険を除去・低減する必要がある。

エ：監視だけでは崩壊時の被災を防止できない。

総合解説：崩壊のおそれがある場合は事前に防護・支保・立入禁止等で危険を除去・低減する必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0048 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：基礎

土止め支保工に使用する材料として適切なものはどれか。

ア. 腐食して断面が減った部材をそのまま使う。

イ. 変形した切りばりを現場で無検討のまま再使用する。

ウ. 亀裂のある部材を塗装して隠して使用する。

エ. 著しい損傷・変形・腐食がなく、必要な性能を確保できる材料を用いる。

答え・解説 **正答：エ**

ア：断面欠損は耐力低下につながる。

イ：変形は所要性能を損なっている可能性がある。

ウ：塗装で亀裂を隠しても構造上の欠陥は解消しない。

エ：規則は土止め支保工に著しい損傷・変形・腐食がある材料を使用しないことを求める。

総合解説：規則は土止め支保工に著しい損傷・変形・腐食がある材料を使用しないことを求める。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0049 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：標準

土止め支保工の計画で考慮すべき内容として最も適切なものはどれか。

ア. 地山の形状・地質・地層・き裂・含水・湧水・埋設物等に応じて堅固な構造とする。

イ. すべての現場で同じ部材寸法と間隔にする。

ウ. 掘削深さに関係なく支保工を省略する。

エ. 湧水の有無は構造に影響しないため調査しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：支保工は現場の地山条件に応じて計画し、崩壊に耐える構造とする必要がある。

イ：地山条件が異なれば必要な支保性能も異なる。

ウ：深さや地質等に応じた崩壊防止措置が必要である。

エ：湧水は地山の安定性に大きく影響し得る。

総合解説：支保工は現場の地山条件に応じて計画し、崩壊に耐える構造とする必要がある。この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0050 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：標準

土止め支保工を設置した掘削部で作業を継続する。点検事項として適切なものはどれか。

ア. 塗装色の変化だけを確認する。

イ. 部材の損傷・変形・腐食・変位・脱落、切りばりの緊圧、接続部等を確認する。

ウ. 作業員の人数だけを確認する。

エ. 支保工の外側から写真を1枚撮れば点検を省略する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：塗装色だけでは構造上の健全性を評価できない。

イ：支保工は部材や接続・緊圧状態の異常が崩壊につながるため、具体的な状態を点検する。

ウ：人数は点検項目の代替にならない。

エ：写真撮影は記録にはなるが、必要な点検そのものを代替しない。

総合解説：支保工は部材や接続・緊圧状態の異常が崩壊につながるため、具体的な状態を点検する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0051 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：標準

掘削土を法肩近くへ仮置きする際の考え方として適切なものはどれか。

ア. 掘削量が多いほど法肩へ高く積む。

イ. 土砂が軽く見えれば法肩直近でもよい。

ウ. 法肩への上載荷重や崩落を考慮し、安全な離隔・置場を計画する。

エ. 通路確保のため掘削縁に沿って連続して積む。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：高く積むほど上載荷重と崩落リスクが増える。

イ：土砂重量は見た目だけで安全判断できない。

ウ：法肩近くの上載荷重は地山の安定を悪化させることがあるため、適切な置場管理が必要である。

エ：掘削縁への連続積載は法肩崩壊や転落の危険を高める。

総合解説：法肩近くの上載荷重は地山の安定を悪化させることがあるため、適切な置場管理が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0052 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：応用

大雨の翌朝、前日に掘削した溝内で作業を再開する。最も適切な対応はどれか。

ア. 前日に安全だったので確認せず入る。

イ. 水が見えなければ地山の状態は変わっていないと判断する。

ウ. 最初の作業者に入ってもらい、その様子で安全を判断する。

エ. 含水・湧水・法面や土止めの変状を点検し、安全を確認してから立ち入る。

答え・解説 **正答：エ**

ア：前日の状態は降雨後の安全を保証しない。

イ：表面水がなくても地中の含水や緩みが増えている可能性がある。

ウ：人を先に入れて確認する方法は危険な試行となる。

エ：降雨により地山の含水状態や支保状態が変化し得るため、再開前の点検が重要である。

総合解説：降雨により地山の含水状態や支保状態が変化し得るため、再開前の点検が重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0053 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：基礎

深い掘削部へ作業者が出入りする場合の管理として適切なものはどれか。

ア. 安全に昇降できる設備・経路を設け、崩壊や転落の危険がないよう維持する。

イ. 掘削壁を直接よじ登る。

ウ. 重機のバケットに乗って昇降する。

エ. 資材用ロープにつかまって昇降する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：掘削部への出入りには安全な昇降手段を確保し、不安全な方法を禁止する必要がある。

イ：地山を直接登ると滑落・崩壊の危険がある。

ウ：重機バケットへの搭乗は用途外で重大な危険がある。

エ：資材用ロープは安全な昇降設備の代替にならない。

総合解説：掘削部への出入りには安全な昇降手段を確保し、不安全な方法を禁止する必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0054 墜落・崩壊防止 > 掘削・土止め ｜ 難易度：標準

法令上作業主任者の選任が必要となる地山掘削作業で、作業主任者の職務として適切なものはどれか。

ア. 工事代金の請求だけを行う。

イ. 作業方法を決定して直接指揮し、器具等を点検し、必要な保護具の使用状況を監視する。

ウ. 掘削作業には関与せず事務所に常駐する。

エ. 作業者各自に方法決定を任せ、指揮しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：請求業務は作業主任者の安全職務ではない。

イ：規則は地山の掘削作業主任者に、作業方法の決定・直接指揮、器具点検、保護具使用状況監視等を求める。

ウ：現場作業を直接指揮する役割がある。

エ：作業方法を統一せず各自任せにするのは職務に反する。

総合解説：規則は地山の掘削作業主任者に、作業方法の決定・直接指揮、器具点検、保護具使用状況監視等を求める。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0055 墜落・崩壊防止 > 揚重・クレーン ｜ 難易度：基礎

移動式クレーンの使用で適切なものはどれか。

ア. つり上げ荷重以下なら姿勢に関係なく同じ荷重をつれる。

イ. 定格荷重を少し超えても短時間ならよい。

ウ. ジブの長さや傾斜角等に応じた定格荷重を確認し、その範囲内で使用する。

エ. 荷の重量が不明でも目測でつり上げる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：つり上げ荷重と各姿勢での定格荷重は同一概念ではない。

イ：短時間でも過負荷は禁止される。

ウ：移動式クレーンは作業半径・ジブ条件等で定格荷重が変わり、その範囲を超えて使用してはならない。

エ：荷重把握なしでは過負荷を防止できない。

総合解説：移動式クレーンは作業半径・ジブ条件等で定格荷重が変わり、その範囲を超えて使用してはならない。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0056 墜落・崩壊防止 > 揚重・クレーン ｜ 難易度：標準

移動式クレーンのアウトリガーを設置する際の対応として適切なものはどれか。

ア. 側溝蓋の上へ直接アウトリガーを載せる。

イ. 沈下しても作業中に継ぎ足せばよい。

ウ. 片側だけ張り出して定格荷重表を無視する。

エ. 地盤の支持力と敷板等を確認し、計画した張出し状態で安定を確保する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：側溝蓋はアウトリガー反力を安全に支持できるとは限らない。

イ：作業中の沈下は転倒に直結するため事前対策が必要である。

ウ：張出し条件は定格荷重に影響するため無視できない。

エ：アウトリガー反力を地盤が安全に支持できるよう設置し、定格条件と一致させる必要がある。

総合解説：アウトリガー反力を地盤が安全に支持できるよう設置し、定格条件と一致させる必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0057 墜落・崩壊防止 > 揚重・クレーン ｜ 難易度：基礎

移動式クレーンで不安定な玉掛け状態の荷をつり上げている。最も適切な立入管理はどれか。

ア. つり荷が落下する危険のある区域への立入りを禁止する。

イ. 荷を手で支えるため真下に作業者を配置する。

ウ. ヘルメットを着用していれば荷の下へ入ってよい。

エ. 荷が軽ければ真下を通行させる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：クレーン等安全規則は一定の玉掛け状態等でつり荷下への立入りを禁止している。

イ：真下は荷の落下時に回避が困難な最危険区域である。

ウ：保護帽でつり荷の直撃危険を十分に防げない。

エ：荷が軽くても落下高さや形状によって重大危害を生じ得る。

総合解説：クレーン等安全規則は一定の玉掛け状態等でつり荷下への立入りを禁止している。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0058 墜落・崩壊防止 > 揚重・クレーン ｜ 難易度：標準

クレーン等の玉掛用具として使用するワイヤロープの安全係数について、規則上の基準として適切なものはどれか。

ア. 2以上（一般的な余裕係数程度を採る）

イ. 6以上

ウ. 3以上

エ. 4以上

答え・解説 **正答：イ**

ア：2では規則基準を満たさない。

イ：クレーン等安全規則では、玉掛用ワイヤロープの安全係数を6以上と規定している。

ウ：3では規則基準を満たさない。

エ：4では規則基準を満たさない。

総合解説：クレーン等安全規則では、玉掛用ワイヤロープの安全係数を6以上と規定している。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0059 墜落・崩壊防止 > 揚重・クレーン ｜ 難易度：基礎

玉掛用ワイヤロープ、フック、シャックル等を使用する日の作業開始前に行うべきことはどれか。

ア. 月初だけ点検すればよい。

イ. 断線があっても荷が軽ければ使用する。

ウ. 異常の有無を点検し、異常があれば使用しないで適切に処置する。

エ. 点検は作業終了後だけ行う。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：日々の使用・損傷を考慮し、月1回だけでは不十分である。

イ：異常品を荷重の大小だけで継続使用してはならない。

ウ：規則は玉掛用具についてその日の作業開始前の異常点検を求めている。

エ：始業前に異常を発見して災害を予防することが重要である。

総合解説：規則は玉掛用具についてその日の作業開始前の異常点検を求めている。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0060 墜落・崩壊防止 > 揚重・クレーン ｜ 難易度：基礎

移動式クレーンの運転者について適切なものはどれか。

ア. 荷が停止していればつったまま休憩してよい。

イ. 合図者がいれば運転席を離れてよい。

ウ. 軽い荷ならつったまま離席してよい。

エ. 荷をつったまま運転位置を離れない。

答え・解説 **正答：エ**

ア：停止状態でも機械・荷の不測動作や落下の危険がある。

イ：合図者は運転操作を代替するものではない。

ウ：荷の軽重にかかわらず基本原則は同じである。

エ：クレーン等安全規則は荷をつったままで運転位置を離れることを禁止している。

総合解説：クレーン等安全規則は荷をつったままで運転位置を離れることを禁止している。この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0061 墜落・崩壊防止 > 揚重・クレーン ｜ 難易度：標準

屋外の移動式クレーン作業中に強風となり、つり荷の振れが大きくなった。最も適切な対応はどれか。

ア. 危険が予想されるため作業を中止し、クレーンの転倒防止等必要な措置を講じる。

イ. つり荷を重くして振れを抑える。

ウ. 運転速度を上げて早く終える。

エ. 作業半径を大きくして続行する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：強風で危険が予想される場合は移動式クレーン作業を中止し、必要に応じ転倒防止措置をとる。

イ：荷を重くするのは過負荷等の新たな危険につながる。

ウ：高速操作は荷振れ・誤操作を増やす。

エ：作業半径増大は一般に定格荷重を低下させ、転倒モーメントを増やす。

総合解説：強風で危険が予想される場合は移動式クレーン作業を中止し、必要に応じ転倒防止措置をとる。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0062 墜落・崩壊防止 > 揚重・クレーン ｜ 難易度：応用

同じ荷を2本のワイヤロープでつる場合、2本のなす角度を大きくすると各ロープに生じる張力は一般にどうなるか。

ア. 角度が大きくなるほど張力は必ず0に近づく。

イ. 角度が大きくなるほど各ロープの張力は増加する。

ウ. 角度に関係なく張力は常に荷重量の半分で一定である。

エ. 角度が180度に近づくほど最も安全になる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：角度増大で張力は減少せず、むしろ増える。

イ：2本つりでは水平成分の影響により、つり角度が大きくなるほど各ロープの張力が増える。

ウ：荷重量の半分になるのは特定の理想条件に限られ、角度の影響を無視できない。

エ：180度に近づくと理論上張力が非常に大きくなり危険である。

総合解説：2本つりでは水平成分の影響により、つり角度が大きくなるほど各ロープの張力が増える。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0063 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：基礎

建設工事における「公衆災害」の対象として最も適切なものはどれか。

ア. 工事会社の売上減少だけをいう。

イ. 工事関係者内部の品質不良だけをいう。

ウ. 工事関係者以外の第三者の生命・身体・財産に対する危害や迷惑を含む。

エ. 完成後の維持費増加だけをいう。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：経営上の損失は公衆災害の定義そのものではない。

イ：品質不良は重要だが、公衆災害の対象を内部品質問題だけに限定できない。

ウ：公衆災害防止対策要綱は、工事関係者以外の第三者の生命・身体・財産への危害や迷惑の防止を対象とする。

エ：維持費だけを指す概念ではない。

総合解説：公衆災害防止対策要綱は、工事関係者以外の第三者の生命・身体・財産への危害や迷惑の防止を対象とする。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0064 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：標準

市街地の工事現場で一般歩行者が作業区域へ入り込むおそれがある。適切な措置はどれか。

ア. 出入口を常時開放して自由に通行させる。

イ. 注意看板1枚だけで資材置場への侵入を許容する。

ウ. 夜間は工事をしていないため囲いを撤去する。

エ. 工事区域を明確に区画し、仮囲い・出入口管理・表示等で第三者の侵入を防止する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：常時開放は第三者が危険区域へ入る原因になる。

イ：看板だけでは物理的侵入防止が不十分な場合がある。

ウ：夜間も残置資材や開口部等の危険が存在し得る。

エ：第三者災害防止では作業区域と公衆の領域を明確に分離し、実効的な侵入防止を行う。

総合解説：第三者災害防止では作業区域と公衆の領域を明確に分離し、実効的な侵入防止を行う。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0065 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：標準

道路沿いの建物外壁面で高所から機材取付けを行う。第三者災害防止として最も適切なものはどれか。

ア. 落下防護設備・立入区画・工具落下防止等を組み合わせ、歩行者を危険範囲から分離する。

イ. 歩行者に上を見て歩くよう呼びかけるだけとする。

ウ. 工具が軽ければ歩道上で作業してよい。

エ. 作業者が注意しているため防護設備を設けない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：高所からの落下物は第三者へ重大危害を与えるため、物理的防護と動線管理を優先する。

イ：歩行者の注意だけに依存する対策は不十分である。

ウ：軽量工具でも落下高さによって重大な危害を与え得る。

エ：人的注意だけでは落下を完全に防げない。

総合解説：高所からの落下物は第三者へ重大危害を与えるため、物理的防護と動線管理を優先する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0066 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：標準

工事車両が歩道を横切って現場へ出入りする。最も適切な措置はどれか。

ア. 車両を優先し歩行者を突然停止させる。

イ. 歩行者の通行を優先し、見通しを確保して必要に応じ誘導員を配置する。

ウ. 後退時も誘導せず運転者のミラーだけに任せる。

エ. 歩道上へ資材を置いて歩行者を車道へ迂回させる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：突然の停止は転倒・接触等を生む可能性があり、計画的な誘導が必要である。

イ：歩行者と工事車両の交錯部では、第三者の安全確保と適切な誘導が重要である。

ウ：後退車両は死角が大きいため、必要な誘導・確認を行う。

エ：無許可で歩行者を車道へ追い出すような動線変更は危険である。

総合解説：歩行者と工事車両の交錯部では、第三者の安全確保と適切な誘導が重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0067 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：標準

夜間も仮囲い沿いの歩行者通路を供用する。適切な管理はどれか。

ア. 照明を全て消して工事区域を目立たなくする。

イ. 車両用投光器を歩行者の目線へ直接向ける。

ウ. 通路の段差・障害物・案内表示を認識できる照明を確保し、眩惑にも配慮する。

エ. 段差があっても反射材だけで十分とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：消灯は転倒や誤進入の危険を増やす。

イ：強い眩惑は歩行者・運転者の視認性を低下させる。

ウ：夜間通路は必要な視認性を確保しつつ、過度な眩惑を避けて安全に通行できる状態を保つ。

エ：段差そのものの解消・防護と適切な照明を検討する必要がある。

総合解説：夜間通路は必要な視認性を確保しつつ、過度な眩惑を避けて安全に通行できる状態を保つ。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0068 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：標準

住宅地で夜間に騒音を伴う工事を計画している。公衆災害・迷惑防止の観点で適切な対応はどれか。

ア. 工期が短ければ近隣への配慮は不要とする。

イ. 苦情が出るまで対策しない。

ウ. 騒音が出る作業を深夜に集中的に行う。

エ. 法令・許可条件や周辺環境を確認し、工法・時間帯の見直しや事前周知等を行う。

答え・解説 **正答：エ**

ア：工期の短さは騒音等の影響をなくさない。

イ：事後対応より予防的対策が望ましい。

ウ：深夜作業は周辺への影響を増やす可能性が高い。

エ：公衆への迷惑を減らすため、施工条件に応じた事前対策・周知・低騒音化等が重要である。

総合解説：公衆への迷惑を減らすため、施工条件に応じた事前対策・周知・低騒音化等が重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0069 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：応用

工事により既設歩道の一部を迂回させ、仮設歩行者通路を設ける。適切な計画はどれか。

ア. 通路幅・段差・防護・誘導表示・夜間視認性を確保し、工事車両動線と分離する。

イ. 幅を極端に狭くして資材置場を優先する。

ウ. 段差やケーブルを露出したままにする。

エ. 車両出入口と同じ線形にして誘導を省略する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：仮設通路は公衆が安全・連続的に通行できるよう、転倒・接触・誤進入を防ぐ設計が必要である。

イ：資材置場より第三者の安全な通行確保を優先する必要がある。

ウ：段差や露出物はつまずき・転倒の原因となる。

エ：車両動線との交錯は接触危険を高めるため分離・誘導が必要である。

総合解説：仮設通路は公衆が安全・連続的に通行できるよう、転倒・接触・誤進入を防ぐ設計が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0070 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：標準

道路沿いの仮囲い内に長尺物を保管する。公衆災害防止上適切なものはどれか。

ア. 仮囲いにもたせ掛けるだけにする。

イ. 転倒・飛散・崩れを防止し、仮囲い外へ突出・落下しないよう固定する。

ウ. 強風時でも固定状態を確認しない。

エ. 長尺物を通路上空へ突き出して保管する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：仮囲いへ荷重を預けるだけでは転倒・囲い破損の危険がある。

イ：保管資材が公衆側へ倒壊・飛散しないよう、安定した保管と固定が必要である。

ウ：強風前後は飛散・転倒リスクの再確認が重要である。

エ：通路上空への突出は接触・落下危険を生む。

総合解説：保管資材が公衆側へ倒壊・飛散しないよう、安定した保管と固定が必要である。この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0071 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：基礎

第三者事故やライフライン損傷に備えた現場体制として適切なものはどれか。

ア. 事故発生後に電話番号を調べる。

イ. 連絡先は現場代理人の私物スマートフォンだけに保存する。

ウ. 発注者、施設管理者、警察・消防、埋設物管理者等への緊急連絡先と連絡手順を事前に整理する。

エ. 夜間連絡先は不要とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：事故後に調べ始めると初動が遅れる。

イ：特定個人だけが情報を持つと不在時に対応できない。

ウ：緊急時は迅速な通報・遮断・救護等が必要なため、事前に連絡先と手順を整備する。

エ：夜間工事や時間外事故も考慮した体制が必要である。

総合解説：緊急時は迅速な通報・遮断・救護等が必要なため、事前に連絡先と手順を整備する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0072 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：標準

既存病院に隣接して掘削・電気工事を行う。第三者影響の事前調査として適切なものはどれか。

ア. 自社敷地内の作業なので隣接施設は調査しない。

イ. 救急車の動線は工事車両と共用すればよい。

ウ. 工事開始後に病院から苦情があれば調整する。

エ. 病院の出入口・救急動線・騒音影響・既設ライフライン等を確認し、施工計画に反映する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：敷地内工事でも騒音・振動・交通・ライフライン影響は敷地外へ及び得る。

イ：救急動線との交錯は重大な支障を生むため事前調整が必要である。

ウ：事後調整より事前協議・計画反映が望ましい。

エ：周辺施設の機能や利用者動線への影響を事前に把握し、公衆災害・機能阻害を予防する必要がある。

総合解説：周辺施設の機能や利用者動線への影響を事前に把握し、公衆災害・機能阻害を予防する必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0073 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：基礎

工事に伴う通行止めや迂回路の案内表示として適切なものはどれか。

ア. 道路利用者が事前に理解できる位置・内容で、明確かつ継続的に表示する。

イ. 規制区間に入った後で初めて表示する。

ウ. 専門用語だけで表示する。

エ. 工事が長期でも古い案内を更新しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：案内は利用者が安全に判断・迂回できるよう、見やすい位置と分かりやすい内容で維持する。

イ：直前すぎる表示は急な進路変更を招く。

ウ：一般利用者が理解できない表示では案内機能を果たさない。

エ：規制内容の変更に応じて表示を更新する必要がある。

総合解説：案内は利用者が安全に判断・迂回できるよう、見やすい位置と分かりやすい内容で維持する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0074 公衆災害防止 > 第三者災害 ｜ 難易度：応用

仮囲い・歩行者通路・標識を設置して工事を開始した後の管理として最も適切なものはどれか。

ア. 設置時に確認したので工期中は再点検しない。

イ. 設置後も変形・移動・視認性・通行状況を点検し、現場条件の変化に応じて改善する。

ウ. 歩行者から苦情がない限り通路状況を確認しない。

エ. 標識が倒れても工事終了までそのままにする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：初期状態だけでは工期中の安全を保証できない。

イ：仮設安全施設は交通・天候・工事進捗により状態が変わるため、継続的な点検・維持が必要である。

ウ：苦情がなくても危険状態は存在し得る。

エ：倒れた標識は案内機能を失い、二次危険にもなるため速やかに是正する。

総合解説：仮設安全施設は交通・天候・工事進捗により状態が変わるため、継続的な点検・維持が必要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0075 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：基礎

道路上で工事・作業を行い交通に影響を与える場合、道路使用許可の申請先として基本的に適切なものはどれか。

ア. 道路管理者だけである。

イ. 税務署長である。

ウ. その場所を管轄する警察署長である。

エ. 消防署長だけである。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：道路管理者は道路占用等の許可主体であり、道路使用許可とは制度が異なる。

イ：税務署は道路使用許可の申請先ではない。

ウ：道路交通法第77条の道路使用許可は、原則として管轄警察署長へ申請する。

エ：消防署は道路使用許可の許可主体ではない。

総合解説：道路交通法第77条の道路使用許可は、原則として管轄警察署長へ申請する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0076 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：基礎

道路上に工事用足場や板囲いを継続して設置する場合に関係する道路占用許可について適切なものはどれか。

ア. 必ず警察署長だけの許可で足りる。

イ. 占用期間が長いほど無許可でよい。

ウ. 工事用足場は道路占用の対象にならない。

エ. 道路を管理する道路管理者の許可が必要となる場合がある。

答え・解説 **正答：エ**

ア：道路使用許可と道路占用許可の両方が必要な場合がある。

イ：長期使用ほど占用の性格が強く、無許可でよい理由にはならない。

ウ：国交省の道路占用制度では工事用板囲い・足場等が対象例に含まれる。

エ：道路法上、工事用板囲い・足場等は道路占用物件となり得て、道路管理者の許可が必要となる。

総合解説：道路法上、工事用板囲い・足場等は道路占用物件となり得て、道路管理者の許可が必要となる。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0077 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：標準

道路上で掘削工事を行い、同時に道路上へ工事用施設を一定期間設置する。許可手続の考え方として適切なものはどれか。

ア. 道路使用許可と道路占用許可の双方が必要となる場合があるため、警察と道路管理者へ事前確認する。

イ. 道路使用許可があれば占用許可は常に不要である。

ウ. 占用許可があれば交通規制に関する手続は常に不要である。

エ. 工事会社の社内承認だけで道路を使用できる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：道路交通上の使用と道路施設の継続占用は別制度で、行為内容により双方の手続が必要となる。

イ：二つの許可は目的・根拠法・許可主体が異なる。

ウ：占用許可だけで交通安全上の道路使用手続を代替できるとは限らない。

エ：公道の使用は社内承認だけでは足りない。

総合解説：道路交通上の使用と道路施設の継続占用は別制度で、行為内容により双方の手続が必要となる。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0078 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：標準

片側車線を規制してケーブル管路工事を行う。適切な事前対応はどれか。

ア. 工事当日に現場判断だけで車線を閉鎖する。

イ. 関係機関と協議し、規制方法・標識・誘導員・迂回等を計画して道路利用者へ分かりやすく示す。

ウ. 標識なしで作業員が手を振って誘導する。

エ. 渋滞が起きても工事終了まで変更しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：無計画な閉鎖は事故・渋滞・法令違反につながる。

イ：供用道路の工事では交通への影響を事前に検討し、許可条件に従った規制・誘導を行う。

ウ：標識や適切な誘導計画なしでは道路利用者が状況を判断できない。

エ：交通状況に応じた安全な見直しが必要になる場合がある。

総合解説：供用道路の工事では交通への影響を事前に検討し、許可条件に従った規制・誘導を行う。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0079 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：標準

工事車両が頻繁に出入りする出入口で交通誘導を行う。適切な方法はどれか。

ア. 死角内に誘導員を立たせる。

イ. 複数の誘導員が別々の合図を出す。

ウ. 誘導員の位置と合図を統一し、車両・歩行者双方から視認できるようにする。

エ. 歩行者の動きを考慮せず車両だけを見る。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：死角では運転者から見えず、誘導員自身も危険である。

イ：相反する合図は誤進行の原因となる。

ウ：誘導員は自らの安全を確保しつつ、関係者に明確な合図を送れる位置・方法で配置する。

エ：歩行者との接触防止も重要な誘導対象である。

総合解説：誘導員は自らの安全を確保しつつ、関係者に明確な合図を送れる位置・方法で配置する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0080 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：基礎

道路工事の規制標識・保安施設の管理として適切なものはどれか。

ア. 資材の陰に隠れていても設置済みならよい。

イ. 夜間は反射・照明等を考慮しない。

ウ. 規制内容が変わっても古い標識を残す。

エ. 道路利用者が十分手前から認識できるよう配置し、転倒・汚損・視認性を継続確認する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：隠れた標識は案内・警告機能を果たさない。

イ：夜間視認性は安全な交通誘導に重要である。

ウ：誤った古い表示は道路利用者を混乱させる。

エ：標識は正しい情報が必要な位置で視認できる状態に維持されて初めて機能する。

総合解説：標識は正しい情報が必要な位置で視認できる状態に維持されて初めて機能する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0081 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：標準

搬入時間より早く到着した大型車両が現場前の道路で待機しようとしている。適切な対応はどれか。

ア. 事前に待機場所・時間調整を行い、無計画な路上待機で交通を阻害しないようにする。

イ. 道路が広く見えるので現場前で長時間待機させる。

ウ. 横断歩道付近でも空いていれば停車させる。

エ. 誘導員がいればどこでも待機してよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：搬入計画では周辺交通への影響を抑えるため、予約・待機場所等を事前に設定することが有効である。

イ：長時間路上待機は交通阻害や事故の原因となる。

ウ：横断歩道周辺等は歩行者安全上も不適切である。

エ：誘導員の存在だけで駐停車規制等が無効になるわけではない。

総合解説：搬入計画では周辺交通への影響を抑えるため、予約・待機場所等を事前に設定することが有効である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0082 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：応用

道路工事で歩道を一部閉鎖するため、歩行者を仮設通路へ誘導する。適切な計画はどれか。

ア. 車両と同じ通路を無区画で歩かせる。

イ. 車道との分離、防護柵、段差処理、案内、夜間照明等を組み合わせて安全な連続通路を確保する。

ウ. 通路途中で歩行者を車道へ出す。

エ. 案内表示を規制区間の出口側だけに設置する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：無区画の共用は接触リスクを高める。

イ：歩行者の安全な連続動線を確保し、車両との接触や転倒を防止する必要がある。

ウ：突然車道へ出す経路は危険である。

エ：入口側など事前に判断できる位置で案内する必要がある。

総合解説：歩行者の安全な連続動線を確保し、車両との接触や転倒を防止する必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0083 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：標準

道路使用許可で作業時間や規制方法に条件が付されている。施工者の対応として適切なものはどれか。

ア. 工期が遅れれば条件を無視して延長する。

イ. 現場代理人だけが条件を知り、誘導員には知らせない。

ウ. 許可条件を施工計画へ反映し、現場関係者へ周知して遵守する。

エ. 交通量が少なければ無断で規制方法を変える。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：条件変更が必要なら関係機関との手続きを検討し、独断で無視してはならない。

イ：実施者に周知されなければ条件遵守できない。

ウ：許可条件は道路使用の前提であり、現場運用に確実に反映する必要がある。

エ：無断変更は交通安全や許可の前提を損なう。

総合解説：許可条件は道路使用の前提であり、現場運用に確実に反映する必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0084 公衆災害防止 > 交通・道路使用 ｜ 難易度：応用

道路上の作業が終了し、規制を解除する際の対応として最も適切なものはどれか。

ア. 作業員が帰れば自動的に規制解除とする。

イ. 路面に段差が残っていても標識だけ撤去する。

ウ. 不要なバリケードを道路上に残す。

エ. 路面・仮設物・残材・標識を確認し、通行安全を回復したことを確認してから規制を解除する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：人がいなくても路面欠損・資材等の危険は残る。

イ：段差が残れば転倒・車両事故の原因になる。

ウ：残置バリケードは交通障害となる。

エ：規制解除前に道路利用者が安全に通行できる状態へ復旧し、不要な仮設物を撤去することが重要である。

総合解説：規制解除前に道路利用者が安全に通行できる状態へ復旧し、不要な仮設物を撤去することが重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0085 公衆災害防止 > 地下埋設物・架空線 ｜ 難易度：基礎

埋設物が予想される場所で掘削する前の基本的な確認として適切なものはどれか。

ア. 管理者等の台帳と設計図を照合し、必要な試掘等で種類・位置・深さ・構造等を確認する。

イ. 設計図だけを見て現地確認を省略する。

ウ. 掘削機のオペレータに位置推定を任せる。

エ. 地表に標識がなければ埋設物はないと判断する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：要綱は台帳照合と必要な試掘等による埋設物の確認を求めている。

イ：図面と現況が一致しない場合があるため現地確認が重要である。

ウ：推定だけでは損傷防止に不十分である。

エ：標識がない埋設物も存在し得る。

総合解説：要綱は台帳照合と必要な試掘等による埋設物の確認を求めている。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0086 公衆災害防止 > 地下埋設物・架空線 ｜ 難易度：標準

既設ガス管の位置が図面だけでは十分に確定できない。最も適切な対応はどれか。

ア. 図面の位置を絶対視して重機掘削する。

イ. 管理者と協議し、必要な試掘等により位置・深さを原則として目視確認する。

ウ. 金属探知機の反応だけで深さを断定する。

エ. ガス管管理者への連絡を省略する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：図面・台帳との相違は埋設物損傷事故の要因となる。

イ：重要埋設物は管理者情報と試掘等を組み合わせ、現地で具体的に確認してから施工する。

ウ：探査結果は有用だが条件により誤差があり、必要に応じ目視確認を行う。

エ：管理者との協議・立会条件確認が重要である。

総合解説：重要埋設物は管理者情報と試掘等を組み合わせ、現地で具体的に確認してから施工する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0087 公衆災害防止 > 地下埋設物・架空線 ｜ 難易度：標準

掘削中に図面にない管路を発見した。最も適切な対応はどれか。

ア. 不要な管と推定して切断する。

イ. 工期優先で管路の周囲を重機で掘り進める。

ウ. 作業を停止し、管理者を調査して必要な立会いを求め、安全確認後に処置する。

エ. 写真だけ撮って埋め戻す。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：用途不明の管路を無断切断すると重大事故・供給停止につながる。

イ：近接重機作業は損傷危険を高める。

ウ：管理者不明の埋設物は再調査し、安全を確認してから処置する必要がある。

エ：写真だけでは安全性や管理者確認ができない。

総合解説：管理者不明の埋設物は再調査し、安全を確認してから処置する必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0088 公衆災害防止 > 地下埋設物・架空線 ｜ 難易度：応用

試掘により既設通信管路が露出した。工事中の管理として適切なものはどれか。

ア. 露出したまま重機の通路にする。

イ. 管路の上へ掘削土を直接積み上げる。

ウ. 管理者への連絡なしに吊り替える。

エ. 管理者と協議した方法で支持・防護し、損傷や変位の有無を継続点検する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：重機接触や荷重による損傷の危険がある。

イ：上載荷重は管路損傷・変位の原因になる。

ウ：支持方法の変更は管理者との協議が必要である。

エ：露出埋設物は公衆災害を防ぐため、協議された保安措置に従い支持・防護・点検する。

総合解説：露出埋設物は公衆災害を防ぐため、協議された保安措置に従い支持・防護・点検する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0089 公衆災害防止 > 地下埋設物・架空線 ｜ 難易度：基礎

クレーンや高所作業車を用いる現場で、架空線が近接している場合の基本対応はどれか。

ア. 架空線の位置・高さ・電圧等を確認し、管理者と協議して安全な作業範囲・防護方法を定める。

イ. 作業当日に運転者の目測だけで判断する。

ウ. 電線が細いほど危険はないと判断する。

エ. 機械のブームが届いても対策しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：架空線損傷・感電事故防止には、事前確認・管理者協議・作業範囲管理が重要である。

イ：目測だけでは離隔を正確に管理できない。

ウ：電線の太さだけで電圧や危険性を判断できない。

エ：接触可能範囲にあるなら具体的な対策が必要である。

総合解説：架空線損傷・感電事故防止には、事前確認・管理者協議・作業範囲管理が重要である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0090 公衆災害防止 > 地下埋設物・架空線 ｜ 難易度：標準

ブーム旋回時に架空線へ近づく可能性がある。適切な対策はどれか。

ア. 運転者が慣れていれば監視不要とする。

イ. 旋回・進入限界を明示し、必要に応じ監視員・誘導員を配置して接近を防ぐ。

ウ. 架空線の真下に資材置場を設ける。

エ. 接近警報が鳴っても作業を続ける。

答え・解説 **正答：イ**

ア：熟練者でも死角・誤操作は起こり得る。

イ：機械と架空線の接触防止には、物理的・管理的な限界設定と監視が有効である。

ウ：架空線下の資材配置は揚重等で接近機会を増やす。

エ：警報は危険接近の兆候であり、無視してはならない。

総合解説：機械と架空線の接触防止には、物理的・管理的な限界設定と監視が有効である。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0091 公衆災害防止 > 地下埋設物・架空線 ｜ 難易度：標準

試掘で埋設電力管路の位置を確認した後の現場管理として適切なものはどれか。

ア. 現場代理人だけが位置を覚えておく。

イ. 確認済みなので地表表示は不要とする。

ウ. 位置を現場で分かるよう表示し、掘削機械の運転者・手元作業者等へ周知する。

エ. 協力会社には位置情報を伝えない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：特定個人だけの記憶では伝達漏れが生じる。

イ：明確な位置表示は誤掘削防止に有効である。

ウ：埋設物の位置情報は、実際に掘削・誘導する関係者へ確実に共有する必要がある。

エ：協力会社も損傷を起こし得るため必要な情報共有が重要である。

総合解説：埋設物の位置情報は、実際に掘削・誘導する関係者へ確実に共有する必要がある。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0092 公衆災害防止 > 地下埋設物・架空線 ｜ 難易度：応用

掘削中に既設ガス管を損傷した疑いが生じた。初動として最も適切なものはどれか。

ア. 漏えい確認のためライターを近づける。

イ. 工期優先で土をかぶせて作業を続ける。

ウ. 周辺へ知らせず作業員だけで修理を試みる。

エ. 直ちに作業を停止し、火気・点火源を排除して人員を安全な場所へ退避させ、管理者・関係機関へ連絡する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：火気を近づける行為は爆発の危険を著しく高める。

イ：埋め戻しだけでは漏えいや損傷が解消せず、状況悪化の可能性がある。

ウ：専門管理者・関係機関への連絡なしの修理は危険である。

エ：ガス管損傷は爆発・火災・中毒等の重大公衆災害につながるため、停止・退避・点火源排除・通報を優先する。

総合解説：ガス管損傷は爆発・火災・中毒等の重大公衆災害につながるため、停止・退避・点火源排除・通報を優先する。 この問題では、法令・公的指針の目的を踏まえ、設備的対策・作業計画・立入管理・関係者調整を組み合わせて安全側に判断することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0093 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：基礎

騒音規制法に基づく特定建設作業の騒音について、規制基準として正しいものはどれか。

ア. 特定建設作業の場所の敷地境界線において、85 dBを超えないことが基準である。

イ. 機械から30 m離れた地点で75 dBを超えないことが全国一律の基準である。

ウ. 作業員の耳元で90 dBを超えなければ周辺環境上の基準を満たす。

エ. 敷地内の任意の一点で85 dB以下なら、敷地境界線の値は問われない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：国の基準は敷地境界線で85 dBを超えないことであり、機械から一定距離だけで判定するものではない。

イ：現行の国基準は機械から30 m地点ではなく、作業場所の敷地境界線で評価する。

ウ：作業員のばく露管理と特定建設作業の周辺騒音規制は目的と測定位置が異なる。

エ：規制値の評価位置は敷地境界線であり、敷地内の任意点で代替できない。

総合解説：特定建設作業の騒音規制では、敷地境界線で85 dBを超えないことが基本である。測定位置を取り違えないことが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0094 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：基礎

振動規制法に基づく特定建設作業の振動について、基準値の説明として正しいものはどれか。

ア. 振動の基準は作業員の手腕振動だけを対象とし、敷地境界線では評価しない。

イ. 指定地域では、敷地境界線において75 dBを超えないことが基本基準である。

ウ. 騒音と同じ85 dBが振動の基準値である。

エ. 作業時間帯を守れば、振動の大きさには数値基準がない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：振動規制法の特定建設作業規制は周辺環境への振動を対象とし、敷地境界線で評価する。

イ：特定建設作業の振動は、指定地域の敷地境界線で75 dBを超えないことが基本基準である。

ウ：騒音の85 dBと振動の75 dBを混同してはならない。

エ：作業時間等の制限に加えて、振動の大きさにも75 dBの基準がある。

総合解説：特定建設作業では騒音85 dB、振動75 dBという基準値を区別し、いずれも敷地境界線での評価を押さえる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0095 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：標準

特定建設作業の騒音を法令上の基準に沿って確認する際の騒音計の設定として、適切なものはどれか。

ア. 周波数補正はC特性、動特性はSLOWだけを用いる。

イ. 周波数補正を使用せず、ピーク値だけを記録する。

ウ. 周波数補正回路はA特性、動特性はFASTを用いる。

エ. 作業員の聴覚でうるささを判定し、騒音計は使用しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：特定建設作業の基準測定として指定されている組合せではない。

イ：基準測定ではA特性等の所定の条件で評価する必要がある。

ウ：環境省告示では、騒音計の周波数補正回路はA特性、動特性は速い動特性（FAST）を用いる。

エ：規制値の確認は適切な騒音計による客観的測定が必要である。

総合解説：騒音規制の数値を扱う問題では、値だけでなく測定条件も重要である。A特性・FASTという組合せを押さえる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0096 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：標準

住宅に近接する現場で、はつり作業による騒音苦情が予想される。施工計画上、最も適切な初期対応はどれか。

ア. 苦情が出るまでは対策せず、発生後に機械を変更する。

イ. 作業時間を短くする代わりに、より騒音の大きい機械を使用する。

ウ. 防音シートだけ設置すれば、機械の選定や時間帯は検討しなくてよい。

エ. 低騒音型の機械・工法への変更を検討し、必要に応じて防音措置や作業時間調整を組み合わせる。

答え・解説 **正答：エ**

ア：周辺条件から予見できる場合は、事前に発生源対策を施工計画へ組み込むべきである。

イ：時間短縮だけでなく騒音レベルそのものを下げる対策が必要である。

ウ：遮音措置は有効だが、発生源対策や時間管理と併用する方が確実である。

エ：騒音対策は発生源での低減を優先し、そのうえで遮音・作業時間調整・周知など複数の対策を組み合わせるのが基本である。

総合解説：環境対策は単一策に依存せず、低騒音・低振動工法、遮蔽、時間管理、周辺周知をリスクに応じて組み合わせる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0097 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：標準

複数の建設機械を同一区画で使用する工程について、騒音・振動の低減策として最も適切なものはどれか。

ア. 高騒音・高振動作業の同時集中を避け、工程と機械配置を調整する。

イ. すべての機械を敷地境界付近に集約し、作業時間を短縮する。

ウ. 騒音の大きい機械ほど夜間にまとめて使用する。

エ. 工程上便利であれば、同時稼働台数は環境管理上考慮しなくてよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：複数機械の同時稼働は周辺への影響を増大させるため、工程分散や配置調整は有効な管理策である。

イ：境界付近への集約は周辺への騒音・振動影響を高めるおそれがある。

ウ：夜間は周辺影響が大きく、法令上の作業時間制限にも注意が必要である。

エ：機械の台数・配置・稼働時間は環境影響を左右するため施工計画で考慮する。

総合解説：騒音・振動対策では、機械単体の性能だけでなく、台数、配置、同時稼働時間を工程管理と一体で考える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0098 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：標準

振動に敏感な既存設備が現場境界付近にある。建設機械の配置計画として適切なものはどれか。

ア. 振動源を対象設備の直近に配置し、短時間で終えることだけを優先する。

イ. 可能な範囲で振動源を対象設備から離し、低振動工法の採用や試験施工・計測を検討する。

ウ. 既存設備が稼働していれば、工事振動の影響確認は不要とする。

エ. 振動は空気中だけを伝わるため、地盤条件は考慮しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：距離を縮めると影響が増すおそれがあり、時間短縮だけでは十分な対策にならない。

イ：振動影響は発生源の種類、距離、地盤条件等に左右されるため、距離確保、工法変更、計測を組み合わせるのが合理的である。

ウ：既存設備の稼働有無だけで工事振動の影響を否定できない。

エ：建設振動は地盤を介して伝わるため、地盤条件や距離を考慮する必要がある。

総合解説：重要設備や近隣建物がある場合は、低振動工法、離隔、計測、試験施工などを組み合わせ、影響を事前に管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0099 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：基礎

建設機械の騒音・振動対策として、日常の維持管理に関する記述で適切なものはどれか。

ア. 騒音は機械の型式だけで決まり、整備状態の影響は受けない。

イ. 異常振動があっても作業能率が落ちなければ継続使用する。

ウ. 異常音やがたつきを放置せず、点検・整備によって機械を良好な状態に保つ。

エ. 環境対策のためには、停止中も常にアイドリングしておく。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：摩耗や緩み、故障は騒音・振動を増加させることがある。

イ：異常振動は設備故障や環境影響、安全上の異常の兆候となり得るため点検が必要である。

ウ：機械の不良や緩みは不要な騒音・振動を増やすことがあるため、点検・整備は発生源対策の一部である。

エ：不要なアイドリングは騒音や排出ガスを増やすため避けるべきである。

総合解説：低騒音型機械の選定に加え、適切な点検整備と不要なアイドリングの抑制も基本的な環境管理である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0100 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：応用

近隣から「工事開始後に振動が大きくなった」と申出があった。施工管理者の対応として最も適切なものはどれか。

ア. 法定基準を測定せずに下回っていると仮定し、そのまま作業を続ける。

イ. 申出者に耳栓の使用を依頼し、工事側の対策は行わない。

ウ. 原因調査より先に、すべての工事を無期限で中止する。

エ. 作業状況と振動源を確認し、必要な測定を行ったうえで、工法・機械配置・稼働時間等の是正策を検討する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：申出がある以上、状況確認や必要な測定を行わず推定だけで済ませるのは不適切である。

イ：周辺振動は工事側で発生源・伝播経路の対策を検討すべきである。

ウ：安全上直ちに停止すべき異常を除き、原因を確認し合理的な対策を講じることが重要である。

エ：苦情時は事実確認と原因把握を行い、客観的な測定結果も用いて、発生源に応じた是正措置へつなげる。

総合解説：環境苦情への対応は、記録、測定、原因分析、是正、説明という流れで管理する。法令順守だけでなく周辺影響の低減も施工管理の対象となる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0101 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：応用

病院に隣接する工事で、昼間に騒音・振動を伴う作業を予定している。施工計画として最も適切なものはどれか。

ア. 病院側と影響の大きい時間帯を調整し、低騒音・低振動工法、遮蔽、必要な計測を組み合わせる。

イ. 法定基準以下なら施設側への事前説明や工程調整は一切不要である。

ウ. 最も騒音の大きい作業を診療時間中に集中させ、工期だけを優先する。

エ. 騒音・振動対策は防音シート一種類に限定し、効果確認は行わない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：敏感施設の周辺では、法定基準の確認に加え、施設利用状況を踏まえた事前調整と複数対策を組み合わせるのが望ましい。

イ：法定基準を満たしていても、周辺への迷惑低減や工事調整は公衆災害防止上重要である。

ウ：施設利用への影響を考慮せず工期だけを優先する計画は適切でない。

エ：発生源、伝播経路、時間管理、計測など複数の手段を状況に応じて組み合わせるべきである。

総合解説：学校・病院等の周辺では、周辺利用者への配慮、事前周知、工法選定、工程調整、必要なモニタリングを総合的に行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0102 環境管理 > 騒音・振動対策 ｜ 難易度：標準

工事の騒音・振動管理について、施工管理上の考え方として適切なものはどれか。

ア. 自主管理値は法令より緩い値を設定し、法令基準を置き換えるために用いる。

イ. 法令基準を満たすことを前提に、周辺条件に応じてより厳しい自主管理値や監視方法を定めることがある。

ウ. 法令基準がある場合、施工者は測定や記録を一切行う必要がない。

エ. 環境管理値は現場の都合だけで決め、周辺施設や発注条件は考慮しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：自主基準で法令基準を緩和したり置き換えたりすることはできない。

イ：法令は最低限守るべき基準であり、病院・住宅等の周辺条件や発注仕様に応じて自主的な管理値を設定することは合理的である。

ウ：周辺条件や施工計画に応じて測定・記録を行い、管理状態を確認することが重要である。

エ：周辺環境や契約条件、法令を踏まえて管理水準を定める必要がある。

総合解説：施工管理では法定基準を下限として遵守し、必要に応じて自主基準や警戒値を設定し、超過前に対策できる体制を整える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0103 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：基礎

掘削土の積込み時に粉じんが発生するおそれがある場合の対策として、適切なものはどれか。

ア. 粉じんを風下へ送るため送風機を強く運転する。

イ. 乾燥を促進するため、発生土を細かく砕いて広げる。

ウ. 散水等により発生源を適度に湿潤化し、必要に応じて覆い等で飛散を抑制する。

エ. 粉じんが見える場合だけ作業員にマスクを着けさせ、周辺への飛散は考慮しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：飛散範囲を拡大させるおそれがあり、粉じん対策として不適切である。

イ：乾燥・微細化は粉じん発生を増やす方向に働く。

ウ：粉じん対策の基本は発生抑制と飛散防止であり、散水による湿潤化や囲い込みが代表的である。

エ：作業員の保護だけでなく、発生源・周辺への飛散防止も必要である。

総合解説：工事粉じんは、発生させない・飛散させないことが基本である。散水、覆い、囲い込み、工法選択等を組み合わせる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0104 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：標準

切断・はつり作業で粉じんが周囲へ飛散する現場の対策として、最も適切なものはどれか。

ア. 作業場所の出入口を全開にし、粉じんを自然風で外部へ排出する。

イ. 粉じんの発生量を把握せず、作業終了後の清掃だけで対応する。

ウ. 集じん設備は作業終了後だけ運転する。

エ. 集じん機能のある工具や局所的な囲い・散水等を用い、発生源近くで粉じんを抑える。

答え・解説 **正答：エ**

ア：外部への粉じん飛散を増やすおそれがある。

イ：清掃だけでは作業中のばく露・飛散を防げない。

ウ：粉じん発生中に有効に運転して発生源からの拡散を抑える必要がある。

エ：粉じんは発生源に近い位置で捕集・湿潤化・囲い込みするほど周辺への拡散を抑えやすい。

総合解説：粉じん対策は発生中に機能させることが重要であり、工具選定、局所集じん、湿式化、囲い込み等を施工条件に応じて選ぶ。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0105 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：基礎

掘削工事により土砂を多く含む濁水が発生した。場外へ排水する前の基本的な対応として適切なものはどれか。

ア. 沈砂・沈殿等によって土砂分を低減し、排水先の条件や関係基準を確認して処理する。

イ. 濁水は雨水と同じなので、排水先を確認せず直接放流する。

ウ. 濁りが強いほど流速を上げ、短時間で公共水域へ流す。

エ. 固形分が沈降する前にポンプで吸い上げ、常にかき混ぜる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：濁水はそのまま排出せず、沈砂池や処理設備等で土砂分を低減し、排水先の基準・条件に適合させることが基本である。

イ：工事排水は水質や排水先の条件を確認し、必要な処理を行う必要がある。

ウ：流速を上げても汚濁負荷は解消せず、周辺水域への影響を拡大させるおそれがある。

エ：沈降可能な土砂を沈殿させる処理と逆行する。

総合解説：濁水対策では、発生量の低減、土砂の沈降・除去、排水先条件の確認を一体で行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0106 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：標準

大雨が予想される掘削現場で、濁水の場外流出防止として適切な事前措置はどれか。

ア. 雨が降り始めてから排水経路を考え、事前確認はしない。

イ. 集水経路と沈砂設備の容量・越流対策を確認し、裸地や土砂仮置場の流出防止を行う。

ウ. 沈砂設備が満杯でも、そのまま越流させる。

エ. 仮置土は排水溝の中に置き、流出した土砂で濁水をせき止める。

答え・解説 **正答：イ**

ア：大雨時は対応が遅れるため、予報段階で排水計画を点検する必要がある。

イ：降雨時は流入量が急増するため、集排水経路、沈砂設備、仮置土の養生等を事前に確認することが重要である。

ウ：未処理の濁水流出につながるため、容量確保・清掃・越流防止が必要である。

エ：排水機能を阻害し、土砂流出・越流の危険を高める。

総合解説：雨天時の濁水事故は予防が重要である。排水経路、沈砂能力、仮置土、ポンプ、越流時の対応を施工計画で確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0107 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：標準

粉じん抑制のため散水を行う場合の施工管理として適切なものはどれか。

ア. 粉じんが減るほどよいので、排水能力に関係なく大量の水を連続散布する。

イ. 濁水対策が必要になるため、粉じんが多くても散水は一切行わない。

ウ. 必要量を散水しつつ、泥濘化や濁水流出が生じないよう排水条件も確認する。

エ. 散水後に泥が道路へ流出しても、自然乾燥を待つ。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：過剰散水は濁水流出や足元悪化を招くため適切でない。

イ：散水は有効な対策の一つであり、排水管理と両立させればよい。

ウ：散水は粉じん対策として有効だが、過剰散水は濁水・ぬかるみ・滑り等の別リスクを生むため管理が必要である。

エ：第三者への泥はねや道路汚損につながるため、流出防止・清掃が必要である。

総合解説：環境対策同士が新たなリスクを生まないよう、粉じん抑制と濁水・足元・道路汚損対策をセットで考える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0108 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：基礎

水域に近接する工事で用いる汚濁防止膜の主な目的として適切なものはどれか。

ア. 水中のすべての有害物質を化学的に無害化する。

イ. 排水量を増やして工事区域内の水を早く入れ替える。

ウ. 施工区域外から濁水を集め、工事区域へ流入させる。

エ. 工事で発生した濁りの拡散を抑え、周辺水域への影響を低減する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：汚濁防止膜は主に濁りの拡散抑制を目的とし、万能な水処理設備ではない。

イ：濁りを周辺へ拡散させる方向となり得る。

ウ：周辺からの流入を増やすことは目的ではない。

エ：汚濁防止膜は濁りの拡散を抑制するための設備であり、施工条件に応じて適切に設置・維持する。

総合解説：濁水対策は、発生抑制・沈殿処理・拡散防止を現場条件に応じて組み合わせる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0109 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：応用

工事排水の濁度が施工管理上の警戒値に近づいていることが確認された。対応として最も適切なものはどれか。

ア. 排水処理設備の状態と濁水発生源を確認し、清掃・処理能力増強・施工方法変更等を警戒値超過前に実施する。

イ. 法定上限を超えるまで何もせず、超過後に原因を調べる。

ウ. 測定値が上がったため、測定を中止して記録を残さない。

エ. 濁度が上がっても、排水量を増やせば影響は小さくなると判断する。

答え・解説 **正答：ア**

ア： モニタリングは超過を記録するためだけでなく、警戒段階で原因を把握し予防的に是正するために用いる。

イ： 警戒値の目的は超過前の予防措置にあり、早期対応が望ましい。

ウ： 異常傾向ほど測定と記録を継続し、原因と対策を確認する必要がある。

エ： 希釈や排水量増加だけで適正処理に代える考え方は不適切である。

総合解説： 環境モニタリングは、管理値に近づいた時点で設備・工法・排水経路を点検し、超過を未然に防ぐための管理手段である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0110 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：応用

工事車両のタイヤに泥が付着し、場外道路への土砂持出しが発生している。最も適切な対策はどれか。

ア. 道路に出た泥は一般車両が踏み固めるので放置する。

イ. 車輪洗浄や場内路面整備を行い、必要に応じて出口付近を清掃して持出しを防止する。

ウ. 車両の速度を上げ、タイヤの泥を走行中に落とす。

エ. 出口でタイヤを叩いて泥を周囲へ飛ばす。

答え・解説 **正答：イ**

ア： 道路汚損やスリップ、粉じんの原因となるため放置は不適切である。

イ： 場外への泥・粉じん持出しは公衆への迷惑や道路汚損につながるため、発生源で車輪・路面を管理する。

ウ： 泥の飛散を増やし、公衆災害の危険を高める。

エ： 粉じん・泥の飛散を招くため、洗浄や適切な除去設備を用いるべきである。

総合解説： 現場出口の車輪洗浄、場内排水、舗装・敷鉄板、道路清掃等を組み合わせ、土砂や粉じんの場外持出しを抑制する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0111 環境管理 > 粉じん・濁水 ｜ 難易度：標準

粉じん・濁水対策の施工管理について、適切な記録の考え方はどれか。

ア. 散水を実施した日だけ記録し、濁水や苦情の発生状況は記録しない。

イ. 測定値が不利な場合は記録から除外する。

ウ. 対策の実施状況、点検・測定結果、異常時の是正内容を記録し、必要に応じて対策を見直す。

エ. 一度対策を決めたら、施工条件が変わっても見直さない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：対策の効果や異常発生状況も記録し、改善につなげる必要がある。

イ：客観的な記録を残し、異常値は原因確認と是正の根拠とする。

ウ：環境対策は実施した事実だけでなく、効果確認と是正履歴を残すことで継続的な管理が可能になる。

エ：工程・天候・周辺条件の変化に応じて環境対策も見直す必要がある。

総合解説：粉じん・濁水管理は、計画、実施、監視、是正、記録というサイクルで運用することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0112 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：基礎

「建設副産物」の説明として最も適切なものはどれか。

ア. 建設現場で新品として購入した資材だけをいう。

イ. 産業廃棄物だけを指し、建設発生土は含まない。

ウ. 工事で発生したもののうち再利用できないものだけをいう。

エ. 建設工事に伴い副次的に得られる物品で、建設発生土や建設廃棄物などを含む。

答え・解説 **正答：エ**

ア：新品資材ではなく、建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。

イ：建設副産物には建設発生土も含まれ、建設廃棄物と同義ではない。

ウ：再利用可能なものを含め、工事に伴って副次的に得られる物品が対象となる。

エ：建設副産物は工事に伴って副次的に得られる物品の総称であり、すべてが廃棄物というわけではない。

総合解説：建設副産物、建設発生土、建設廃棄物の用語を区別することは、適正処理・再利用計画の基本である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0113 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：基礎

建設廃棄物の処理を外部業者へ委託する場合の考え方として、適切なものはどれか。

ア. 委託した場合でも、排出事業者は適正な委託・処理を確保する責任を負う。

イ. 処理業者へ引き渡した時点で、排出事業者の責任は完全に消滅する。

ウ. 工期が短ければ、無許可の業者へ委託してもよい。

エ. 処理内容を確認する必要はなく、最も安い業者だけを選べばよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：廃棄物処理を委託しても排出事業者責任がなくなるわけではなく、適正な委託先・処理経路を確保する必要がある。

イ：委託後も排出事業者として適正処理を確保する責任がある。

ウ：許可等の要件を満たす適正な処理業者への委託が必要である。

エ：価格だけでなく、許可範囲や処理能力、適正処理の確保を確認する必要がある。

総合解説：建設廃棄物は排出事業者責任の下で、分別、保管、収集運搬、処分まで適正な処理経路を確保する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0114 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：標準

建設廃棄物を現場で分別する主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア. 廃棄物の種類を分からなくし、処理業者の判断に任せるためである。

イ. 再資源化や適正処理を行いやすくし、混合廃棄物の発生を抑えるためである。

ウ. 現場内の保管場所を必ず一つにまとめるためである。

エ. 廃棄物量を記録しなくてもよくするためである。

答え・解説 **正答：イ**

ア：種類が混在すると再資源化・適正処理が難しくなる。

イ：種類ごとの分別は再資源化率を高め、処理方法の適正化や混合廃棄物削減に有効である。

ウ：分別は種類ごとに適切に保管・管理するために行う。

エ：分別しても数量・搬出・処理の管理は必要である。

総合解説：建設副産物管理では、発生抑制、分別、再使用・再資源化、適正処理の順に検討することが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0115 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：基礎

建設リサイクル法の基本的な考え方として適切なものはどれか。

ア. 建設工事で発生するすべての物を無条件に埋立処分することを求める。

イ. 工事の発注者だけが対象で、施工者には分別に関する役割がない。

ウ. 対象となる建設資材について分別解体等と再資源化等を促進する。

エ. 対象建設資材の分別を禁止し、混合状態で処理することを求める。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：法律の目的は再資源化等の促進であり、埋立を一律に求めるものではない。

イ：発注者・受注者等にそれぞれ手続や分別解体・再資源化等に関する役割がある。

ウ：建設リサイクル法は、対象建設工事における分別解体等と特定建設資材廃棄物の再資源化等を促進する制度である。

エ：分別解体等を通じて再資源化を促進する趣旨と逆である。

総合解説：建設リサイクル法では、コンクリート、アスファルト・コンクリート、木材等の対象資材について分別・再資源化を進める。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0116 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：標準

工事現場で廃棄物を一時保管する場合の管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 雨水で流れ出す場所に廃棄物を積み、囲いは設けない。

イ. 廃油と紙くずを同じ容器に混合し、処理方法は搬出時に決める。

ウ. 通路上に置き、保管期間中の点検は行わない。

エ. 種類ごとに区分し、飛散・流出等を防止できる場所・方法で保管し、管理状態を確認する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：流出や散乱を防止できる保管方法とする必要がある。

イ：性状の異なる廃棄物を安易に混合すると適正処理を妨げる。

ウ：通行・安全を阻害せず、保管状態を適切に維持・点検する必要がある。

エ：現場保管では分別状態を維持し、飛散、流出、悪臭、混入等を防ぐ管理が必要である。

総合解説：廃棄物の一時保管も処理工程の一部であり、分別、表示、飛散・流出防止、保管場所の安全確保を行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0117 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：標準

掘削で発生した建設発生土の取扱いについて、適切な考え方はどれか。

ア. 建設発生土は建設副産物として、利用可能性や搬出先、土質・数量等を把握し、適正な取扱いを計画する。

イ. 建設発生土は必ず産業廃棄物として処分しなければならない。

ウ. 搬出先の条件や土質を確認せず、空いている土地へ自由に置いてよい。

エ. 発生量は工程や運搬計画に影響しないため、数量把握は不要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：建設発生土は建設廃棄物と同一ではなく、再利用・受入先・土質等を踏まえた適正な管理が必要である。

イ：通常の建設発生土は建設廃棄物と同一概念ではなく、利用・搬出の適正管理を行う。

ウ：不適正な盛土・搬出を防ぐため、受入条件や関係法令等を確認する必要がある。

エ：数量は運搬、仮置、再利用、工程管理に直結する重要情報である。

総合解説：建設発生土は有効利用を検討するとともに、不適正な搬出・盛土を防ぐため、数量、土質、受入先を管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0118 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：応用

産業廃棄物の委託予定業者について、許可証の事業範囲に今回の廃棄物が含まれないことが判明した。施工管理者の対応として適切なものはどれか。

ア. 契約価格が安ければ、許可範囲外でも委託する。

イ. そのまま委託せず、対象廃棄物を適法に扱える許可・能力を有する業者を確認して委託先を見直す。

ウ. 現場で別名を付ければ、許可範囲外の廃棄物でも扱える。

エ. 運搬だけ許可があれば、処分方法や処分先の確認は不要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：許可要件を満たさない委託は適正処理にならない。

イ：廃棄物の種類や処理方法が許可範囲に合致していることを確認したうえで委託する必要がある。

ウ：廃棄物の実際の種類・性状に基づいて適正な許可範囲を確認する必要がある。

エ：収集運搬と処分はそれぞれ適正な許可・処理経路を確認する必要がある。

総合解説：委託契約では廃棄物の種類、許可範囲、処理能力、処分先等を確認し、不整合があれば搬出前に是正する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0119 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：応用

改修工事で大量の金属くずと梱包材の発生が見込まれる。環境管理として最も適切な計画はどれか。

ア. 分別に手間がかかるため、すべて混合廃棄物として排出する。

イ. 再資源化できる金属も現場で焼却して体積を減らす。

ウ. 発生抑制を検討したうえで、金属くず等を分別し、再使用・再資源化可能なルートを確保する。

エ. 余剰資材が発生しても、数量管理せず毎回多めに発注する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：混合排出は再資源化を困難にするため、可能な範囲で分別する。

イ：現場焼却は適切な処理方法ではなく、資源循環にも反する。

ウ：資源循環では発生抑制、再使用、再資源化を優先し、やむを得ない残さを適正処分する考え方が基本である。

エ：発生抑制には適正な数量管理や梱包・調達方法の改善も重要である。

総合解説：建設副産物管理は廃棄後だけの問題ではない。調達・施工方法から発生抑制を図り、分別と再資源化へつなげる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0120 環境管理 > 建設副産物・廃棄物 ｜ 難易度：標準

建設廃棄物の搬出・処理記録を適切に残す主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア. 処理記録は工事写真の代わりに使用するためだけに残す。

イ. 処理後に責任を処理業者へ移すため、排出側では記録しない。

ウ. 廃棄物の種類や数量を不明確にするために記録する。

エ. 廃棄物が適正な経路で処理されたことを確認し、処理状況を追跡できるようにするためである。

答え・解説 **正答：エ**

ア：目的は工事写真の代替ではなく、廃棄物処理経路と適正処理の確認である。

イ：排出事業者側でも適正処理を確認できる記録管理が必要である。

ウ：記録は種類・数量・処理先を明確にし、追跡性を高めるために行う。

エ：廃棄物管理では、種類・数量・搬出先・処理状況を追跡できる記録が、排出事業者責任の履行確認に重要である。

総合解説：処理経路のトレーサビリティを確保することで、不適正処理の予防と異常時の確認が可能になる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0121 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：基礎

法令上、資格や特別教育等が必要な作業へ作業員を配置する際の基本的な考え方として適切なものはどれか。

ア. 作業に必要な資格・教育・技能を確認し、要件を満たす者を配置する。

イ. 現場経験が長ければ、法令上必要な資格の有無は確認しなくてよい。

ウ. 人手不足の場合は、未教育者を先に作業させ後日教育する。

エ. 資格証等は本人の申告だけで確認済みとし、配置記録は不要とする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：危険・有害業務では、法令上必要な免許、技能講習、特別教育等の要件を事前に確認して配置する。

イ：経験と法定資格・教育要件は別であり、必要な要件を満たす必要がある。

ウ：必要な教育等は作業前に実施・確認する必要がある。

エ：必要に応じて資格・教育履歴を客観的に確認し、配置管理へ反映する。

総合解説：作業員配置では、人数だけでなく、作業に必要な資格・教育・技能を適合させることが安全管理の基本である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0122 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：基礎

作業員の健康状態と作業配置の関係について、適切なものはどれか。

ア. 健康状態は個人情報なので、就業上の措置には一切反映しない。

イ. 健康診断結果や医師等の意見を踏まえ、必要に応じて就業場所変更や作業転換等を検討する。

ウ. 健康上の配慮が必要でも、本人が希望すれば高負荷作業へ必ず配置する。

エ. 作業配置は資格だけで決め、作業強度や健康状態は考慮しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：法令に基づく健康管理では、医師等の意見を踏まえ必要な就業上の措置を検討する。

イ：適正配置では、技能だけでなく健康状態と作業環境・作業内容の適合を考慮する。

ウ：安全配慮上、作業負荷や環境に応じて配置変更等を検討する必要がある。

エ：資格を満たしても、健康状態・作業強度との適合を考える必要がある。

総合解説：適正配置は「作業」と「人」の適合を図る考え方であり、資格、経験、健康状態、作業負荷を総合的に確認する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0123 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：標準

新規入場者を高所作業を含む班に配置する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 初日に最も危険な作業を単独で担当させ、適性を確認する。

イ. 他現場の経験があれば、当該現場の危険事項の説明は省略する。

ウ. 必要な教育・資格を確認し、現場固有の危険事項を周知したうえで、経験者による指導・確認体制を設ける。

エ. 資格確認は工事終了時にまとめて行う。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：経験・現場理解が不足する段階で単独の高危険作業に配置するのは不適切である。

イ：現場ごとに作業条件・動線・危険源が異なるため固有事項の周知が必要である。

ウ：新規入場者には法定教育だけでなく、現場固有のルール・危険源を理解させ、必要に応じて経験者と組み合わせる。

エ：必要な資格・教育の確認は作業前に行う。

総合解説：配置計画では、経験差を前提に教育・指揮・相互確認の仕組みを組み込み、単独作業リスクを下げる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0124 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：標準

同一区画で電気配線作業と資材揚重作業が同時に予定されている。作業員配置として適切なものはどれか。

ア. 両作業を同一範囲で自由に行わせ、各作業員の注意だけに任せる。

イ. 電気作業員を揚重物の直下に配置し、合図を兼務させる。

ウ. 指揮者を置かず、作業開始後に必要に応じて担当を決める。

エ. 作業範囲・時間帯を調整し、揚重区域への立入を分離したうえで、各作業の指揮系統を明確にする。

答え・解説 **正答：エ**

ア：揚重物との接触・落下物等のリスクがあり、作業分離と立入管理が必要である。

イ：つり荷の下への立入を避け、兼務による注意分散も防ぐべきである。

ウ：混在作業前に役割・指揮・連絡方法を決める必要がある。

エ：混在作業では人員数だけでなく、作業間干渉、立入範囲、合図・指揮系統を調整することが重要である。

総合解説：複数職種が同時に作業する現場では、作業間の干渉を事前に洗い出し、人員配置と工程・立入管理を一体で計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0125 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：標準

作業主任者等の選任が必要な作業について、人員配置上の考え方として適切なものはどれか。

ア. 法令で必要な選任を行い、作業主任者等が実際に職務を遂行できる配置・作業範囲とする。

イ. 資格者の氏名だけ掲示し、本人は別現場に常駐していてもよい。

ウ. 作業主任者の職務は一般作業員と同じなので、指揮・点検時間を確保しなくてよい。

エ. 人手不足の場合は、無資格者を作業主任者として扱う。

答え・解説 **正答：ア**

ア：名義上選任するだけでなく、作業方法の決定・指揮・点検等の法定職務を実施できる体制が必要である。

イ：必要な職務を実際に遂行できない形式的な選任では不十分である。

ウ：法定職務を遂行できるよう業務量と配置を考える必要がある。

エ：法令上の資格要件を満たす者を選任しなければならない。

総合解説：安全管理者・作業主任者・誘導者等は、選任の有無だけでなく、現場でその役割を果たせる配置であることが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0126 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：応用

工程遅延を取り戻すため、同じ作業員に長時間の連続高負荷作業を集中させる案が出た。安全面から最も適切な対応はどれか。

ア. 遅延解消が最優先なので、休憩を削り同一作業員を連続配置する。

イ. 工程見直しや交替要員の確保、休憩確保等を検討し、疲労による判断力低下を避ける配置とする。

ウ. 作業員が自己申告しない限り、疲労は配置計画で考慮しない。

エ. 危険作業ほど経験者一人にすべて集中させ、代替要員を育成しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：疲労蓄積による災害リスクを高めるため不適切である。

イ：工程回復でも安全確保が優先される。疲労は判断・動作の誤りを招くため、人員・時間・休憩を含めて再計画する。

ウ：管理側も作業時間・負荷・健康状態を把握し、安全な配置を行う必要がある。

エ：過度な集中は疲労と属人化を招くため、交替・支援体制も検討する。

総合解説：作業員配置は工程管理と連動させ、過重負荷を前提にした工程回復ではなく、人員・交替・休憩を含む現実的な計画とする。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0127 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：標準

機械室内での点検作業を一人で行う計画について、施工管理上の判断として適切なものはどれか。

ア. 一人で作業できれば常に効率的なので、危険性に関係なく単独配置する。

イ. 携帯電話を持たせれば、すべての単独作業リスクがなくなる。

ウ. 作業の危険性、通信手段、救援の容易さ等を評価し、必要に応じて複数配置や監視・連絡体制を設ける。

エ. 作業場所が屋内なら、単独作業の危険性評価は不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：効率だけでなく、異常時の救援・連絡・退避を考慮する必要がある。

イ：通信手段は対策の一つだが、環境によっては使用できず、危険性そのものも残る。

ウ：単独作業の可否は、異常時に自力で連絡・退避できるか、救援が遅れないか等をリスクアセスメントで判断する。

エ：屋内でも感電、酸欠、転倒、閉じ込め等の危険があり得る。

総合解説：単独作業では「事故を起こさない」対策に加え、「異常を早期に発見し救援できる」体制を評価する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0128 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：標準

資材搬入車両が歩行者通路を横断して現場へ進入する。作業員配置として適切なものはどれか。

ア. 歩行者が車両を避ける前提とし、誘導者は配置しない。

イ. 運転者ごとに異なる合図を用い、誘導者間の統一はしない。

ウ. 誘導者を車両の死角内に立たせ、運転者から見えない位置で合図する。

エ. 車両と歩行者の動線を分離し、必要な位置に誘導者を配置して運転者との合図方法を統一する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：公衆の安全を工事側の管理で確保する必要がある。

イ：合図の不一致は誤認につながるため、方法を統一する。

ウ：誘導者自身の安全と運転者からの視認性を確保する必要がある。

エ：第三者との接触リスクがある搬入では、動線分離、誘導者配置、合図統一が有効である。

総合解説：車両誘導は単なる人数配置ではなく、立ち位置、動線、運転者との視認・合図方法まで含めて計画する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0129 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：応用

停電を伴う夜間切替作業で、限られた時間内に複数設備を操作する。人員配置として最も適切なものはどれか。

ア. 操作担当、確認担当、連絡担当を明確にし、異常時に復旧・退避できる要員と連絡手段を確保する。

イ. 最も経験のある一人に操作・確認・連絡をすべて任せる。

ウ. 作業開始後に、その場で担当を決める。

エ. 復旧できない異常は想定せず、退避・連絡担当を置かない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：重要な切替作業では、操作・相互確認・連絡・異常対応を一人に集中させず、役割分担とバックアップを設ける。

イ：一人への集中は見落としや連絡遅延を招き、異常時の代替もない。

ウ：切替手順と役割は事前に定め、関係者で共有しておく。

エ：異常時を想定した連絡・退避・復旧体制が必要である。

総合解説：高リスク・時間制約のある作業では、役割分担、相互確認、異常時のバックアップまで含めて配置計画を作る。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0130 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：標準

朝礼時に作業員が強いめまいを訴えている。高所作業へ配置する予定だった場合の対応として適切なものはどれか。

ア. 本人が希望すれば予定どおり高所作業を続けさせる。

イ. 高所作業から外し、健康状態を確認したうえで必要な休養・受診等を検討する。

ウ. 作業開始後に悪化した場合だけ対応し、開始前の症状は考慮しない。

エ. 高所作業を早く終えればよいので、休憩を取らず集中して作業させる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：本人希望だけで安全上のリスクを無視してはならない。

イ：体調不良は墜落等の重大災害につながり得るため、当日の状態に応じて配置変更することが重要である。

ウ：開始前に異常を把握した時点で配置を見直すべきである。

エ：体調不良者への高負荷・高危険作業の集中は危険である。

総合解説：作業員配置は固定ではなく、当日の体調、天候、作業条件の変化に応じて適宜見直す。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0131 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：基礎

作業当日に予定していた有資格者が欠勤した場合の基本対応として適切なものはどれか。

ア. 無資格者を名目上だけ有資格者として扱い作業を続ける。

イ. 有資格者が電話で指示すれば、現場にいなくても常に代替できる。

ウ. 必要資格者を代替配置できない場合は、その資格が必要な作業を実施しない。

エ. 工期優先のため、資格確認を後日に回す。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：法令上の資格要件を満たさず、重大な安全上・法令上の問題となる。

イ：作業によっては現場での資格・選任・職務遂行が必要であり、電話指示だけで代替できない。

ウ：必要な資格・選任要件を満たさないまま作業を強行せず、代替要員の確保や工程変更を行う。

エ：資格要件は作業前に満たす必要がある。

総合解説：欠員時は予定どおり作業することを前提にせず、法令要件とリスクに応じて代替配置または工程変更を行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0132 労務・健康 > 作業員配置 ｜ 難易度：応用

狭い電気室内の機器搬入作業で、作業員を増員すれば安全性が高まるという意見が出た。最も適切な判断はどれか。

ア. 人数は多いほど常に安全なので、作業空間に関係なく最大人数を投入する。

イ. 狭い場所では一人だけにすべて任せるのが最も安全である。

ウ. 役割分担は不要で、全員が同じ作業を同時に行う。

エ. 作業空間、役割、避難経路、機器の動線を考慮し、必要十分な人数と配置を決める。

答え・解説 **正答：エ**

ア：過密配置は接触・合図混乱・退避困難等を招くことがある。

イ：重量物搬入等では複数人や誘導が必要な場合があり、リスク評価が必要である。

ウ：役割を明確にし、相互干渉を防ぐ配置が必要である。

エ：人数が多すぎると干渉や避難阻害を生む場合があり、作業空間・役割に応じた適正人数が重要である。

総合解説：適正配置は単純な増員ではない。作業スペース、技能、役割、避難・救援性を踏まえて必要十分な人数を決定する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0133 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：基礎

労働安全衛生規則上、「熱中症を生ずるおそれのある作業」の目安として正しいものはどれか。

ア. WBGT28以上又は気温31℃以上の場所で、継続1時間以上又は1日4時間を超えて行うことが見込まれる作業である。

イ. WBGT20以上で10分以上行うすべての作業である。

ウ. 気温35℃以上の場合に限り対象となり、WBGTは使用しない。

エ. 屋外作業だけが対象で、屋内の高温作業は対象にならない。

答え・解説 **正答：ア**

ア： 2025年6月施行の改正安衛則では、WBGT28以上または気温31℃以上かつ所定の作業時間が見込まれる作業を対象に報告体制等を求めている。

イ： 法令上の対象作業の基準とは異なる。

ウ： WBGT28以上又は気温31℃以上が基準である。

エ： 気温・WBGTと作業時間で判断し、屋内外に限らない。

総合解説： 熱中症対策ではWBGTを活用し、法定の対象条件を満たす作業では報告体制・対応手順・周知を事前に整える。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0134 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：基礎

熱中症を生ずるおそれのある作業で、事業者が整備すべき体制として適切なものはどれか。

ア. 症状が重篤化するまで報告させず、本人だけで様子をみる。

イ. 本人の自覚症状又は周囲が異常を発見した場合に、速やかに報告できる連絡先・担当者等を定めて周知する。

ウ. 報告先は決めず、各作業員が任意の人へ連絡する。

エ. 本人に自覚症状がなければ、周囲が異常を見つけても報告しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア： 早期発見・早期対応が重篤化防止の要点であり、報告を遅らせるのは不適切である。

イ： 改正安衛則では、熱中症の自覚症状や疑いを発見した場合の報告体制を事前に整備し、関係者へ周知することが必要である。

ウ： 緊急時に迷わないよう、報告体制を事前に定め周知する。

エ： 周囲が熱中症の疑いを発見した場合も報告対象となる。

総合解説： 報告体制は「誰が・誰へ・どう連絡するか」を明確にし、本人の自覚だけに依存しない仕組みとする。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0135 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：標準

高温環境下で作業員にふらつきと反応低下がみられた。事前手順に基づく対応として最も適切なものはどれか。

ア. 本人が「大丈夫」と言えば、そのまま一人で作業を続けさせる。

イ. 体温を下げないよう厚着させ、作業場所で休ませる。

ウ. 作業から離脱させて身体を冷却し、状態を確認して必要に応じて医療機関へ搬送する。

エ. 作業終了まで待ってから報告し、医療判断は翌日に行う。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：判断力が低下している可能性があり、本人の申告だけで継続させない。

イ：身体冷却と涼しい場所への退避が基本であり、厚着は不適切である。

ウ：熱中症が疑われる場合は、作業離脱、冷却、医師の診察・処置や搬送等を迅速に実施する。

エ：重篤化するおそれがあるため、早期の報告・処置が必要である。

総合解説：熱中症は急速に重篤化することがあるため、異常を認めたら作業離脱・冷却・医療連携を迷わず実施する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0136 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：標準

WBGTが上昇し、午後に高温となる予報が出ている。施工計画上の対応として適切なものはどれか。

ア. 工期を守るため、WBGTに関係なく同じ作業強度を維持する。

イ. 水分を一度多く飲ませれば、その後の休憩は不要とする。

ウ. 熱中症は気温だけで決まるので、WBGTは確認しない。

エ. 作業時間帯の変更、休憩頻度の増加、作業強度の低減等を検討し、WBGTに応じて作業を管理する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：高温時は作業強度・時間の調整を含む予防策が必要である。

イ：継続的な水分・塩分補給と休憩、健康確認が必要である。

ウ：WBGTは温度、湿度、輻射熱等を考慮した有用な指標である。

エ：熱中症対策は水分補給だけでなく、作業時間・強度・休憩・服装・環境改善を組み合わせる。

総合解説：WBGT値を把握し、その値と作業強度・着衣等を踏まえて、休憩・作業時間・人員配置を調整する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0137 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：標準

高温多湿作業中の巡視やバディ制の目的として、最も適切なものはどれか。

ア. 作業員の健康状態や水分・塩分摂取状況を確認し、異常を早期に発見するためである。

イ. 作業速度を上げるため、休憩を減らせているか確認するためである。

ウ. ウェアラブル機器を装着していれば、人による確認を完全に廃止するためである。

エ. 症状が出た人を作業から外さず、記録だけを残すためである。

答え・解説 **正答：ア**

ア：熱中症では本人が異常を自覚・報告できない場合もあるため、巡視や相互確認は早期発見に有効である。

イ：目的は健康状態の確認と早期対応であり、休憩削減ではない。

ウ：機器は補助手段であり、他の確認方法と組み合わせることが望ましい。

エ：異常を発見した場合は作業中断・冷却等の必要な措置につなげる。

総合解説：巡視、バディ制、通信手段、ウェアラブル等は、異常の早期把握と報告体制を補強する手段として用いる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0138 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：標準

健康診断で、熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病について医師から配慮が必要との意見があった。対応として適切なものはどれか。

ア. 本人が症状を訴えるまで、医師の意見は配置に反映しない。

イ. 医師等の意見を踏まえ、必要に応じて高温作業を避ける、作業転換するなどの措置を検討する。

ウ. 全員一律の作業条件とし、個人の健康状態は考慮しない。

エ. 健康上の配慮が必要な者ほど、暑熱順化のため最も高温の作業へ配置する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：予防的な就業上の措置を検討するために医師等の意見を活用する。

イ：疾病等によって熱中症リスクが高まる場合は、医師等の意見を勘案し、就業場所変更・作業転換等を検討する。

ウ：個人差や疾病の影響を踏まえた適正配置が必要である。

エ：リスクを高める可能性があり、医師等の意見に基づく適切な配慮が必要である。

総合解説：熱中症予防では環境対策と個人の健康管理を組み合わせる。持病や体調不良がある場合は配置・作業条件を見直す。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0139 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：基礎

暑熱順化に関する説明として適切なものはどれか。

ア. 初日から最大負荷で作業させるほど、短時間で安全に順化できる。

イ. 暑熱順化は一度成立すれば長期間作業を休んでも失われない。

ウ. 暑熱環境に慣れていない作業員には、作業負荷を段階的に上げるなどの配慮を行う。

エ. 暑熱順化は水分補給と無関係なので、順化した者には補給が不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：急な高負荷は熱中症リスクを高めるため不適切である。

イ：休業等により順化が失われることがあるため再度配慮が必要である。

ウ：休業明けや新規入場者など暑熱に慣れていない者はリスクが高くなるため、段階的な順化を考慮する。

エ：順化の有無にかかわらず適切な水分・塩分補給が必要である。

総合解説：暑熱順化は熱中症リスクを下げる重要な要素だが、順化していてもWBGT管理、休憩、水分・塩分補給は必要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0140 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：応用

真夏の屋上で重量物を扱う作業について、熱中症リスクを最も適切に管理する計画はどれか。

ア. 飲料を置くだけで、時間帯・休憩・作業強度は変更しない。

イ. 作業時間を短縮するため、休憩をなくして連続作業とする。

ウ. 暑さに強いと自己申告した者だけを固定配置し、WBGTは測定しない。

エ. WBGTを確認し、早朝への時間変更、休憩・給水、日陰確保、作業交替、健康確認を組み合わせる。

答え・解説 **正答：エ**

ア：給水だけでは高い暑熱負荷を十分に低減できない。

イ：連続高負荷作業は熱中症リスクを高める。

ウ：自己申告だけに依存せず、客観的な環境把握と健康管理が必要である。

エ：高温・直射日光・高作業強度が重なる場合、単一対策ではなく環境・作業・人の各面から対策を重ねる必要がある。

総合解説：熱中症対策は、WBGT、作業時間、休憩、給水、日射遮蔽、作業交替、健康確認、報告体制を総合的に設計する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0141 労務・健康 > 熱中症・健康管理 ｜ 難易度：標準

作業員の健康情報を配置判断に利用する際の考え方として、適切なものはどれか。

ア. 安全・健康確保に必要な範囲で取り扱い、医師等の意見を踏まえて就業上の措置へ反映する。

イ. 安全管理のためなら、健康情報を現場全員へ無制限に公開する。

ウ. 個人情報なので、安全上必要でも一切利用しない。

エ. 医師の意見より工程優先とし、配置変更は行わない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：健康情報は適切に管理しつつ、安全上必要な就業配慮へ活用することが重要である。

イ：健康情報は必要な範囲で適切に取り扱う必要があり、無制限共有は不適切である。

ウ：適切な管理の下で、医師等の意見に基づく就業上の措置へ活用する。

エ：健康障害防止のため必要な措置を検討する必要がある。

総合解説：健康管理では、情報保護と安全配慮を両立させ、必要な者が必要な範囲で情報を用いて適正配置を行う。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0142 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：基礎

建設現場の災害時対応として、平常時に整備しておくべきものはどれか。

ア. 事故が起きた後に連絡先を調べればよい。

イ. 緊急連絡先、指揮系統、避難・救護方法を定め、関係者へ周知する。

ウ. 現場責任者だけが手順を知っていれば、作業員への周知は不要である。

エ. 避難経路は資材置場として使用し、災害時だけ片付ける。

答え・解説 **正答：イ**

ア：緊急時の時間損失を防ぐため、事前に連絡先・手順を整備する。

イ：緊急時にその場で考えるのではなく、連絡・指揮・避難・救護の手順を事前に定めておくことが重要である。

ウ：関係者が迷わず行動できるよう周知が必要である。

エ：避難経路は常時利用できる状態に保持する必要がある。

総合解説：災害時対応の基本は、事前計画、周知、訓練、設備維持である。連絡網や避難経路は実際に機能する状態を保つ。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0143 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：標準

作業員が通電中の電気設備に接触して倒れている。救助時の初動として最も重要なものはどれか。

ア. 直ちに素手で被災者を引き離す。

イ. 設備を通電したまま、水をかけて被災者を冷却する。

ウ. 救助者自身の感電を防ぐため、可能な限り電源を遮断し、安全を確保してから救助する。

エ. 被災者が動かない場合は、そのまま放置して管理者到着を待つ。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：通電が継続していると救助者も感電する危険がある。

イ：水は電気的危険を高めるおそれがあり、まず通電状態への対処が必要である。

ウ：感電事故では救助者が直接触れて二次感電する危険があるため、まず電源遮断等で安全を確保する。

エ：安全を確保したうえで、救急要請・救命処置等を速やかに行う必要がある。

総合解説：救助では「救助者が新たな被災者にならない」ことが最優先である。電源遮断、安全確認、救急要請、必要な救命処置へ進む。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0144 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：標準

仮設盤付近から煙が発生し、火災の拡大が懸念される。現場対応として適切なものはどれか。

ア. 煙が出ていても作業を継続し、休憩時間まで様子を見る。

イ. 消火のため、電気設備の通電状態を確認せず任意の方法で大量の水をかける。

ウ. 初期消火を最優先し、退避経路がなくなっても消火を続ける。

エ. 周囲へ警報・連絡し、安全に可能な範囲で電源遮断や初期消火を行い、危険時は速やかに避難・消防へ通報する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：火災は急速に拡大する可能性があり、直ちに対応する必要がある。

イ：電気火災では感電等の危険を考慮し、適切な消火方法を選ぶ必要がある。

ウ：人命安全を優先し、危険が増せば避難する。

エ：初期消火は人命安全を前提に行い、拡大時は無理をせず避難・通報へ切り替える。

総合解説：火災時は発見・警報・通報・安全な初期消火・避難を手順化し、電気設備では通電状態も考慮する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0145 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：標準

強い地震の後、現場で作業を再開する際の対応として最も適切なものはどれか。

ア. 足場、仮設設備、資材、電気設備等の異常を点検し、安全を確認してから再開する。

イ. 停電していなければ、他の点検をせず直ちに作業を再開する。

ウ. 外観に異常がなければ、高所や隠れた接合部の確認は不要である。

エ. 余震が続いていても、工程遅延を避けるため高所作業を優先して再開する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：地震後は目に見えない緩み・変形・転倒・漏電等が生じている可能性があるため、再開前点検が必要である。

イ：通電の有無だけでは構造物や仮設設備の安全を確認できない。

ウ：重要な仮設設備等は必要に応じて詳細な確認を行う。

エ：余震等の危険を考慮し、安全が確認できるまで危険作業を再開しない。

総合解説：災害後の作業再開は「早さ」ではなく「安全確認」が基準である。点検対象・責任者・再開判断を事前に定めておくとよい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0146 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：標準

暴風が予想される日に高所で資材取付け作業を予定している。施工管理者の対応として適切なものはどれか。

ア. 工期優先のため、風速や警報に関係なく予定どおり高所作業を行う。

イ. 気象情報と現場条件を確認し、危険が予想される場合は作業を中止・延期し、資材や仮設物の飛散防止を行う。

ウ. 作業員だけ退避させ、固定していない資材は高所に残す。

エ. 雨が止んだ瞬間だけ作業すれば、風や足元状態は確認しなくてよい。

答え・解説 **正答：イ**

ア：悪天候は墜落・飛来落下の危険を高めるため、状況に応じて中止する。

イ：悪天候時は作業中止判断だけでなく、資材・仮設物の固定や退避など二次災害防止も必要である。

ウ：飛散・落下による公衆災害を防ぐため、資材等の養生・固定も必要である。

エ：風、足場、滑り等を含む現場条件を総合的に確認する。

総合解説：気象災害への対応は、予報段階での中止基準、資材養生、退避、再開前点検まで一連の手順として管理する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0147 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：基礎

避難用の出入口や通路の管理として、適切なものはどれか。

ア. 通常使わない避難口は資材でふさいでよい。

イ. 避難経路の表示は不要で、現場責任者だけが場所を知っていればよい。

ウ. 避難用であることを表示し、非常時に容易に利用できる状態を維持する。

エ. 避難用器具は設置後に点検せず、災害時だけ使用可否を確認する。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：非常時に利用できなくなるため、ふさいではならない。

イ：関係者が速やかに避難できるよう表示・周知が必要である。

ウ：労働安全衛生規則では、避難用の出入口・通路・器具について表示し、容易に利用できる状態に保持することが求められている。

エ：常時有効に使用できるよう維持管理する必要がある。

総合解説：避難経路は日常管理が重要であり、表示、整理整頓、照明、障害物除去、設備点検を継続する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0148 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：応用

重大な労働災害が発生した直後の現場対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 原因究明のため、救護より先に写真撮影を長時間行う。

イ. 二次災害の危険があっても、全員を事故地点へ集める。

ウ. 事故後すぐに設備を全面的に改造し、発生時の状態を記録しない。

エ. 二次災害を防止しつつ被災者の救護・救急要請を優先し、その後必要な連絡・現場保全を行う。

答え・解説 **正答：エ**

ア：人命救助を遅らせてはならない。安全を確保し救護・救急要請を優先する。

イ：二次災害防止のため危険区域への立入を制限する必要がある。

ウ：救護・安全確保後は必要な範囲で現場状況を記録・保全し、原因究明と再発防止へつなげる。

エ：事故直後は人命救助と二次災害防止が最優先であり、必要な通報・連絡を行ったうえで原因調査に必要な状態を保全する。

総合解説：災害時は、人命救助、二次災害防止、緊急連絡、現場保全、原因調査・再発防止の順序を混同しないことが重要である。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0149 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：標準

避難・緊急時対応訓練の実施後に行うこととして、最も適切なものはどれか。

ア. 連絡・避難に要した時間や問題点を振り返り、手順・設備・役割分担を必要に応じて改善する。

イ. 訓練は実施した事実だけで十分で、問題点は記録しない。

ウ. 毎回同じ手順を形式的に繰り返し、現場条件の変化は反映しない。

エ. 連絡が失敗しても、実災害では成功すると考えて対策しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：訓練は実施回数だけでなく、実際に機能したかを検証し改善することで緊急対応力を高める。

イ：問題点を記録し、次回や実際の災害に向けて改善することが重要である。

ウ：工程・人員・仮設設備の変化に応じて訓練内容も見直す。

エ：訓練で判明した連絡不備は、連絡網や通信手段を是正するべきである。

総合解説：訓練はPDCAとして運用し、実施→評価→改善を繰り返す。現場条件が変化した場合も緊急手順を更新する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

0150 労務・健康 > 災害時対応 ｜ 難易度：応用

台風接近中に仮設電源設備へ浸水が始まり、周辺通路にも冠水が見られる。対応として最も適切なものはどれか。

ア. 通電したまま冠水区域へ入り、素手で設備を移動する。

イ. 人員を危険区域から退避させ、感電・転倒等の二次災害を防ぎつつ、安全に可能な範囲で電源遮断と立入規制を行う。

ウ. 設備保全を最優先し、作業員の退避は最後に行う。

エ. 冠水通路を避難経路としてそのまま使用させる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：感電の危険が高く、二次災害を招くため不適切である。

イ：風水害と電気設備が重なる場合は、感電、転倒、流出物等の複数リスクを同時に考え、人命安全を優先する。

ウ：人命安全が最優先であり、危険区域からの退避を先行させる。

エ：転倒・感電等の危険があるため、安全な代替経路や立入規制を検討する。

総合解説：複合災害では一つの危険だけに注目せず、人命安全、二次災害防止、電源・設備の安全措置、立入規制、連絡を総合的に実施する。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-08-21

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/